

# 北大生協 2016 年度 通常総代会 二次議案書

## 招 請 状

2016年5月9日

総代 各位

北海道大学生協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

2016年度通常総代会を下記の要領で開催いたしますのでご通知いたします。

### 記

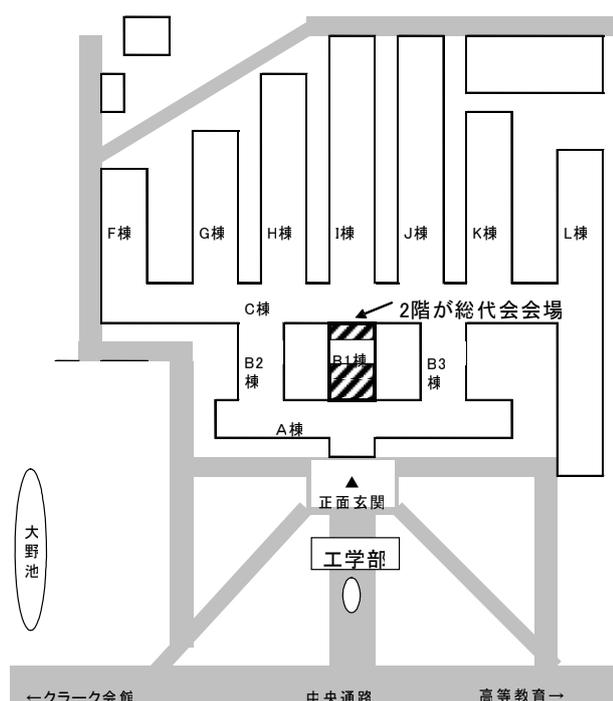
- 1 期 日 2016年5月26日(木) 18:00 開場 (お早めに受付をお済ませ下さい)  
18:30 開始 (お弁当をご用意しています)
- 2 会 場 北海道大学工学部オープンホール
- 3 議 案 第1号議案 2015年度事業報告・決算関係書類承認の件  
第2号議案 2016年度事業計画及び、予算の件  
第3号議案 役員報酬限度額決定の件  
第4号議案 2020年に向けた北大生協ビジョンとアクションプラン策定の件  
第5号議案 定款一部改定の件  
第6号議案 議案決議効力発生の件  
-役員選出の件-

授業等がある総代の方は、授業等が終了してからご参加ください。

この議案書は事前の討議や5月26日の総代会当日に使います。当日実出席できない方は、「書面議決書」と「役員投票用紙」を早めに提出ください。

## 北海道大学生協同組合

<http://www.hokudai.seikyou.ne.jp/>  
e-mail: [seikyou@coop.hokudai.ac.jp](mailto:seikyou@coop.hokudai.ac.jp)



## ◆◆ 北大生協の総代会 ◆◆

総代会は1年に1回の大切な会議です。274名の総代が参加します。この議案は、理事会が4月初めに「一次議案書」を発表して意見や修正案等を募ったうえでまとめました。(4月20日の決議案等の提出期限までに組合員からの議案の提案はありませんでした。) ご意見・ご質問は、「意見提出用紙」(41ページ)をお使いいただくか、e-mail (seikyout@coop.hokudai.ac.jp) でお寄せください。学生・院生の総代の方(札幌キャンパス)には4月下旬から5月中旬に、教職員(札幌キャンパス)の総代の方には5月10日～12日に議案の説明を総代会議等で行います。函館キャンパスの方はお手数ですがe-mail (seikyout@coop.hokudai.ac.jp) でお寄せください。

5月26日にはぜひご出席ください。総代会当日どうしても実出席できない方は、「書面議決書」と「役員投票用紙」を提出してください。詳しくは41ページをご参照ください。進行は「総代会運営規約」(ホームページに掲載)によります。当日「議事日程・総代会のすすめ方」が提案・確認される予定です。

## ◆◆ 総代会で話し合うこと・決めること ◆◆

### 第1号議案 2015年度事業報告・決算関係書類承認の件

2015年3月から2016年2月までの北大生協の事業と経営結果がまとめられています。2015年度に生じた剰余の処分方法が提案されています。税務申告のためにも、この議案の決定が必要です。

### 第2号議案 2016年度事業計画及び、予算の件

2016年度の計画や予算などが提案されています。これを総代のみなさんの賛成多数で決めていただくことで、2016年度に理事会が事業を続ける根拠が整います。

### 第3号議案 役員報酬限度額決定の件

2016年度の役員報酬の限度額が提案されています。これを総代のみなさんの賛成多数で決めていただくことで、2016年度に理事会が事業を続ける根拠が整います。

### 第4号議案 2020年に向けた北大生協ビジョンとアクションプラン策定の件

2016年から2020年までの5年間の新たな『北大生協ビジョンとアクションプラン』を策定し提案します。これを総代のみなさんの賛成多数で決めていただくことで、2016年度に理事会が事業を続ける根拠が整います。

### 第5号議案 定款一部改定の件

2013年6月に全国大学生協連が法令や模範定款例に基づき総合的に吟味し不備を修正しています。これを総代のみなさんの賛成多数で決めていただくことで、2016年度に理事会が事業を続ける根拠が整います。

### 第6号議案 議案効力発生の件

総代会議事録作成の際に各決議の本旨に反しない範囲での字句修正を理事会に一任いただくことを提案します。

### 2016年度役員選挙の件

理事21名と監事5名を選出します。理事は北大生協の事業と経営に責任を持ち、総代会決定に基づき細部を決め、自分自身であるいは職員・委員を通じて事業を執行します。監事は、理事の職務執行を監査します。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．

### 総代会は、どんな雰囲気ですすみますか。

法律と北大生協のルール等に沿って適切に議案を準備したつもりです。わからない点があれば質問し、「ここが変だ」・「もっとこう考えた方がいい」などの箇所があったらその旨ご意見をください。討論の後、総代の多くが「採決している」という気持ちになったら採決をします。

また、よく練り上げられた議案で、そのプロセスが適正で「このまま決めても差し支えない」という状況

のときは、特段の質疑・討論なしに採決が行われることもあります。生協理事会は「総代会が実出席で成立し、活発な意見交換が行われること」を願い、その方向で努力をします。

### 総代会の場で一から北大生協の政策を考えられるのですか。

いいえ、総代会は、積み重ねてきた検討のうえに、最終的な討論を行って採決する場です。

北大生協は、数十人の理事・監事や顧問と50人近い委員と約570人の職員が日常業務に関わり、年間50億円規模の事業を行っています。これまでに68年の蓄積があり、毎年1000件を超えるご意見をいただき、実行できることは全部実現して今日があります。はじめて総代になった方は、先輩たちがつくってきた判断の蓄積を追いかけるのでせいっぱいかもかもしれません。しかし、もし翌年にも総代になっていただければ、1年間の経験をもとにもっと深い関与ができるようになります。

### 役員候補がどういう人だかわからないので、投票のしようがありません。

一般的な状況のみで投票する内容を決めてください。候補者の中には、自ら立候補した人、北大総長が推薦した人、生協理事会が推薦した人がいます。立候補の機会はこの組合員にもありました。理事会は、事業と経営を安定的に発展させられる候補が揃ったと考えています。顔写真・経歴・抱負等も掲載しました。

### ふだん生協を利用して感じていることを話し合いたいのですが。

「食堂の混雑を何とかして」「こういう商品をそろえて」などのご意見は、総代会の全体討論の場ではなく、後半での「生協に対する意見・要望についての意見交換」の場でコメントしてください。

「北大生協って食堂や売店をやっている業者なの？」「北大生協のことを決めている人たちってどこにいるの？」「なぜほかの業者じゃなくて生協の店舗があるの？」…。こうした疑問を頭に思い浮かべながら、私たちは2年がかりで話し合い、2011年5月の総代会で「北大生協の使命とビジョン」を決めました。

3つの使命（現在の活動をなぜ行っているかという理由）として、①北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献すること、②学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・協同の促進に寄与すること、③持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力をつくすことを掲げ進めてきました。

ビジョンは2015年までの目標の設定でしたので、この一年で理事会を中心にあらためて2020年まで目標を決め、次の5年間（2020年度まで）のビジョンとアクションプラン話し合ってきました。今回の総代会では2020年度までの新しいビジョンとアクションプランを決定いたします。

4つのビジョン（北大生協が望む未来図）は、①組合員の要求を事業活動の中心に据えて、福利厚生事業・入学から卒業までをサポートできる生協をめざす、②人と人のつながりを大切にし、協同を通じて、組合員と共に学び成長する生協をめざす、③経営を安定させ、組合員に安心して利用してもらえ、満足いただけるサービスを提供する、④事業や活動を通じて、大学や社会に貢献する生協をめざすこととしました。

～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．～．．．

## 北大生協ビジョンとアクションプラン

### － 協同と助けあいの創造・継承のために －（2011年5月総代会制定）

私たちは、北海道大学につどう学生・院生・教員・職員によって構成され、生協職員とともに事業・活動を営む生協です。

北大生協は、1947年6月、ノートも本もなく「学ぶことは食べること」といわれた時代に誕生しました。以来、食事や文房具の確保に始まり、そのときどきの大学と大学構成員の必要を満たすために、多彩な事業・活動を展開してきました。

2011年3月に発生した東日本大震災、福島原発事故は日本の社会経済に未曾有の困難をもたらしています。くらしの安全・安心の軽視、首都圏への極端な集中、原子力発電への過度の依存がその背景となっています。同時に、この危機に際して、人々の「協同の精神」が発揮され、様々な被災者への支援が取り組まれています。北大生協は「協同の精神」を今一度確認し、「安全・安心」なくらしを求め、組合員、北海道大学、他大学生協と

協力して、その役割を發揮してまいります。

北海道大学は、大学院に重点を置く基幹総合大学であり、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」という教育研究に関わる基本理念を掲げています。北大生協は、北海道大学が基本理念を達成することを願い、私たち自身の豊かで充実した大学生活の実現をめざしています。

北大生協は、北海道大学を構成する教職員と学生さんを中心とする組合員、国立大学法人北海道大学の2者の中に位置しています。私たちは組合員を第一に、そのことは同時に北海道大学へ、さらに社会への貢献をめざす事業体として活動を続けています。事業・活動の目標設定と目標実現を明確化するために以下のビジョンとアクションプランを掲げます。

#### <北大生協の3つの使命>

- 1 北大生協は、北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献します。
- 2 北大生協は、学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・協同の促進に寄与します。
- 3 北大生協は、持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力をつくします。

#### <4つのビジョン>

- 1 組合員の要求を事業活動の中心に据えて、福利厚生事業・入学から卒業までをサポートできる生協をめざします。
- 2 人と人のつながりを大切にし、協同を通じて、組合員と共に学び成長する生協をめざします。
- 3 経営を安定させ、組合員に安心して利用してもらえ、満足いただけるサービスを提供する生協をめざします。
- 4 事業や活動を通じて、大学や社会に貢献する生協をめざします。

#### <ビジョン実現のための4つのアクションプラン>

- 1 多様な構成員の全員が利用しやすい店舗・サービスの追求、情報の発信を行い、活気あふれる事業活動をいっそう充実させます。
- 2 暮らしの変化に対応して、学生・院生・留学生・教職員組合員のニーズに応える事業を確立し、生協の事業と学生・院生・留学生・教職員の各委員会活動の役割發揮を通じて、組合員一人ひとりと深く結びついた事業の展開を行います。
- 3 安定した経営を実現し、安心して利用される事業体をめざします。
- 4 事業や活動を通じて、大学や社会に貢献する生協をめざします。

#### □ 一つひとつの事業は、使命を果たすために

たとえば、食堂で食事を提供するとき、次のことを大切にしようと思いがけます。

- おいしい食事をしっかり食べて、勉学・研究を円滑にすすめたい。バランスのとれた朝ご飯をもっと多くの方とともに。(1番目の使命を思い浮かべながら)
- レシートの栄養表示をみることで食品の栄養バランスを考える力を学生のうちにつけ社会に巣立とう。昼食時以外にも食堂を学生どうしの交流とくつろぎの場にしよう。(2番目の使命を思い浮かべながら)
- 使う食材等は、安全で安いことはもちろん、選べるならば地球環境やその原材料を作る人たちにも役立つものを。(3番目の使命を思い浮かべながら)

「時間割の組み方を新入生といっしょに考える履修相談会」や「売店や書店の運営」、「健康と安全を増進し、学生生活のリスクを保障する共済事業」をはじめ、生協が行う各事業を通じて「北大生協の使命」を果たしていきます。

#### □ 使命を思い浮かべながら、学生と教職員でつくる生協理事会で

大切なことは生協理事会や委員会などで検討します。理想と「今の力やお金ではここまでしかできない」という現実との間でよく悩みます。「時間をかけて多くの人と相談したい」という気持ちと「決める係の私たちが必要なときに決断しないと迷惑をかける」という事情との間で葛藤することもあります。失敗して人に迷惑をかけることも。こういう経験が、「もっと人の役に立ちたい、たくさんの人とすすめたい、

経営をよくしたい、自分の力を高めたい」という意欲に通じます。おおむね学部2年生から大学院生と教職員で構成される理事会は、従来行ってきたことに加え、「いま私たちにとって必要なこと」を新たな事業として行おうと試みます。「学外の業者では思いつかない、学生と教職員でつくる生協ならではの事業」を行える理由の一つです。

#### □ 全学の福利厚生に責任を感じ、大学の助言を受けて

かつては学内で生協以外の業者がもっと多くの食堂等を営業していましたが、「赤字なので営業をやめる」という事態が続きました。先輩たちは「そこで生活する学生や教職員にはぜひ必要な食堂だ」とか「他の事業でもっと多くの黒字を出しトータルで収支を合わせよう」と話し合いながら今日の北大生協を作ってきました。北海道大学からは、店舗や事務所を無償で借り、生協理事会の自主的な判断が尊重された的確な助言を受けています。

2004年には、「北大は、北大が行うべき学生等のための福利厚生の充実を図る目的をもって、福利厚生業務を生協に委託し、生協はこれを受託する。とりわけ、学生支援のための福利厚生は、大学が行うべき正課外の教育でもあり、正課の教育では代替できない固有の意義があるものであって、この意味でも生協の行う本件業務は、北大にとって不可欠のものであり、生協は、この観点からも北大に協力し誠実に責任を持ってこれを遂行するものとする。」という趣旨を含む「業務委託契約書」を大学と交わしています。

#### □ 「大学生生活や北大をもっとよくしていきたい」と願う、学生と教職員と生協職員の共同の力で

生協というと、食堂・売店や生協職員を思い浮かべる方も多いと思います。これらは北大生協の重要な一部です。また「学生総合共済によるたすけあい」「生協を活用して行われる上級生から受験生・新入生への歓迎やサポート」や「新入生全クラスでの総代の選出とクラス活動の支援」なども北大生協の一部です。

「自分が先輩からされてうれしかったことを後輩にしてあげたい」とか「人と人とが力をあわせることで自分たちの生活と北海道大学をもっとすばらしい大学にしたい」という学内構成員の意欲が出発点です。「私の願いを生協を使って実現したい、私もがんばる」という方が、生協理事会と直接または間接に連携しながら、必要ならば他の学生・教職員や生協職員の関与も得て、自ら活動を広げ、これが生協の事業になっていきます。近年は、学生グループなどが「リサイクルやフェアトレードなどの活動を継続的に行うために生協の機能をうまく使いたい」と考えて、生協理事会と対応することで生協と連携・協力するケースも増えてきました。

経済的に成り立たせることも重要です。「利益のためにがんばるわけではない」と考えがちですが、学生・教職員が生協経営を気にしなくなると、先輩が残してくれた財産を食いつぶし組合員に出資金を返せなくなる日が来ます。自らの願いにもとづく活動を生協の事業として次の世代に引き継ぐために、生協経営にも関心を払い、黒字を増やして有効に活用します。北大生協はこのように活動を続け、今年65年目を迎えます。

#### □ 北大内で協力し合うことに加え、全道・全国の大学生協とも協力して

北大生協だけの規模ではできることが限られ、他生協と共同して実施した方が低コストでメリットを得られる場合があります。このため、生協理事会は全道・全国の大学生協と「いっしょにできることがあれば、小異にこだわらず共同で行おう」と日々相談しています。そして、北大生協の意思を総代会・理事会で最終的に決めています。

#### □ あなたの願いを、北大生協を活用して実現してください

北大生協を活用する方法はたくさんあります。「委員や役員になって、生協運営に直接参画しよう」という方、「学生グループによる活動を、生協も使って拡大したい」という方、「私の願いを理事会や生協職員にかなえてほしい」という方、ぜひとも北大生協を上手にご活用ください。

# 第1号議案 2015年度事業報告・決算関係承認の件

## 第1章 北大生協、2015年から2016年へ

### (1) 2015年度の特徴や、2016年度に行うこと

- 1 学生・院生・留学生・教職員委員会の活動を通じて、新たな仲間をあたたく迎え、つながりをつくる場を提供する活動、組合員の声を取り入れ、生協をよくする活動、北大の魅力を内外へ発信する活動等さまざまな取り組みが行われています。

大学祭でのごみナビ(6月 学生向け)、オープンキャンパスでの北大生と話そう(8月 高校生向け)、ポッキーの日企画(11月 学生向け)、中古自転車無料譲渡(5・10月 留学生向け)、日用雑貨提供(4・10月 留学生向け)、留学生リーフレット(4月 留学生向け)、いんでないかい(2月発行 新入院生向け冊子)、ほんでないかい(12月発行 院生向け)、きぼうの虹、(教職員、院生向け年6回発行、北大生協HPにWEB版掲載)、フォトコンテストの実施(6月募集、8月1日発行のきぼうの虹にて受賞者発表)、受験生や合格者等への情報提供や歓迎活動(1月頃～)、新入生歓迎活動(学生、院生、留学生向け)、大学と協力をして行う履修相談会MANAVIをはじめとした催し、パンフレット作成等、学生、院生、留学生、教職員の各委員会を中心に実施しました。

- 2 環境課題推進委員会は、北海道大学が募集した「サステイナブルキャンパスをつくる！」に、『学内福利厚生施設の環境負荷低減を目的とした調査と「学生の声」によるワークショップ』という提案事業名でエントリーし、採択されました。採択後、委員会ではプロジェクトチームをつくって、東京地区の大学施設の視察や12月には「中央食堂をプロデュース！」というタイトルでワークショップを開催し、その報告書を大学関係者へ配布しました。また、2月に大学に提出した報告書には、「北大生協のエネルギー・水の消費実態」について報告しました。東京施設の視察の際には、「CAS-Net JAPAN」の年次大会にも参加し各大学の環境団体と交流しました。

- 3 大学各部局と協力して、生協ができることを紹介し、さまざまな取り組みを行っています。東京・名古屋・大阪で行われた地方開催の北大進学相談会に参加し、受験時のフライトや宿泊、および住居等の案内を行い受験のお手伝いを行っています。受験予定者、保護者から高い評価をいただいています。また保険未加入者対策として部局と調整し一緒に学研災または生協共済への加入促進対策を進めました。

- 4 学生生活に関しては、引き続き暮らし向きは改善されない状況が続き、全国学生生活実態調査での自宅外生の1ヶ月の平均収入は115,060円で、昨年と比較して微減しています。平均仕送り額は74,600円でこちらも昨年と比較して減少しており、厳しい状況が続いています。仕送り額は4年連続で8万円を割り、28年前の1985年と同じ水準です。収入の減少をバイトで増やしたり、食費や家賃の支出を節約して生活を防衛しています。

支出面では、自宅外生の食費が1か月24,300円で、アベノミクス前の2012年度と比較して上昇しています。これは、2014年に実施された消費税増税や食料品値上げの影響も受けていると思われます。食費の節約として自炊や、弁当・ライスを持参する傾向が強まっています。また、ついつい食事を抜くということも見られ、規則正しく毎日3食を摂取されていない状況が表れています。食生活のみだれによる体調管理等も心配です。利用しやすい価格ラインとメニューの充実、組合せ次第で安価で栄養バランスのとれた食事ができるような提案や、混雑を解消して快適に食事ができる施設改善も必要です。また、自宅生も含め貯金等が減少(自宅外生▲4,970円 自宅生▲3,680円)となっております。これは最近の物価上昇の影響を受け、貯金に回す余裕が無くなってきているかと思われます。他では書籍購入費が1か月の平均2,360円と昨年と比較して上昇しています。1日の読書時間がゼロなのが37%と、こちらも昨年と比較してゼロと回答する比率が減少しています。スマホの利用時間は、全国平均と比較し、約20分少なくなっておりますが、勉強時間(授業+大学+大学以外)も全国平均と比較し、約17分少なくなっており、2012年度以降、最低となりました。

5 学生が病気やケガで困っている他の学生をたすけたいという精神を制度化した学生総合共済の1年間の状況は、生命共済が15年度支払実績907件、6,196万円、前年779件、5,543万円と件数、金額ともに増加しています。給付の呼びかけを体育会にも協力いただき強化した結果、給付申請忘れが減少したことが要因です。

火災共済の15年度支払実績は23件、507万円、前年23件、705万円と給付額が減少しています。水抜きの呼びかけ強化による水道管凍結破裂事故の1件当たりの被害額の減少が要因といえます。学生委員を中心に年末年始の帰省前に、食堂に共済スタンドの設置や生協のトラベルセンター利用者へのビラ配布等、水道管凍結の注意喚起をしたことで、火災共済の事故給付額の減少につながりました。

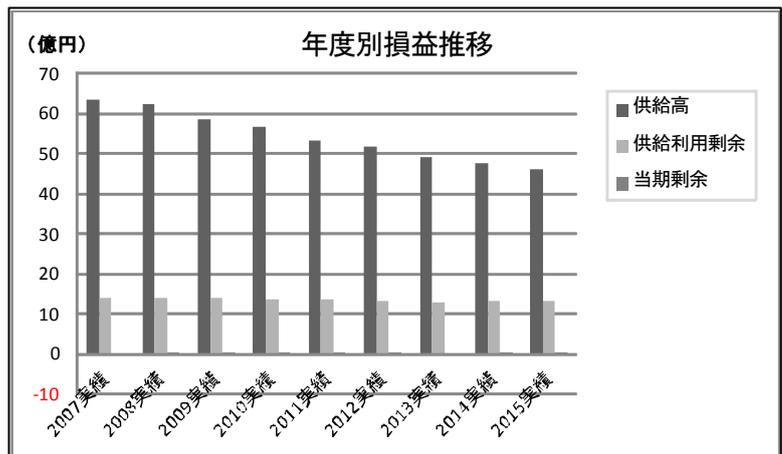
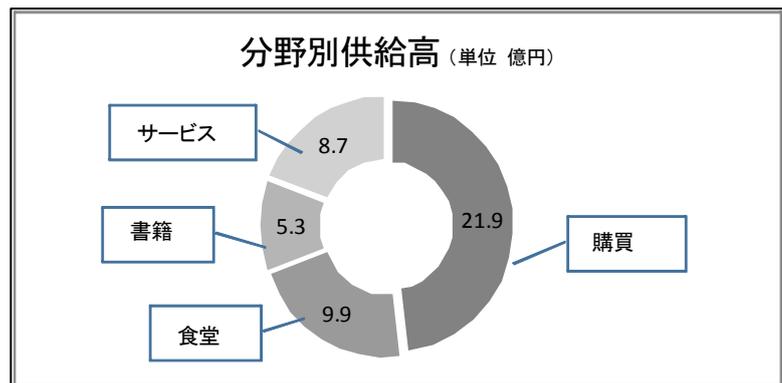
## 2) 2015年度の経営状況

2015年度の北大生協の決算について、新学期事業では保護者説明会の運営やアドバイザー制の変更をおこなったことや、Web決済による受注形態が使えるようになったことで利便性が高まるかに向上し多くの利用をしていただき各数値的にはよい成果を出せました。その一つには保護者説明会等での学生（アドバイザー）を中心とした生協の強みという部分や、アドバイザーの運営体制を変えたこと等により新生活用品やパソコンともに前年数値を大きく伸張したことがあり、これは次年度の新学期にも繋がる大きな成果だと考えています。また購買、食堂で全学年、教職員を対象としたICカードの春秋のプレミアチャージ企画を行い学内マネーの囲い込み対策により購買の食品分野や食堂の組合員利用促進に年間を通し利用に大きくつながりました。

一方厳しい分野としては、購買部門では校費利用の低迷により外売を中心に文具、パソコン周辺機器が厳しい状況です。書籍部門では雑誌や一般・文芸などの紙媒体の購読が減少している事もあり全国的に利用が減少している傾向です。旅行は政策的に10月より配券業務を中止したこともあり一部教員層の出張供給が減少したことや、海外の治安悪化により12～1月に見込んでいた卒業旅行向け海外パック需要が激減しています。さらに国内、海外航空券ともWEB等に対して価格優位性がなく利用が後退していることも要因です。

事業経費では人件費では退職に伴う人員減などで節約傾向にあります。最賃対応に伴う非正規職員の契約の変更で退職時給金を予算外で900万円超過支出したことや、物件費では政策的に行なったポイント還元、プレミア企画による費用の増加の他、予算作成時の漏れによる車両運搬費用の増加、老朽化による厨房機器や設備の故障が想定以上に多く発生し、施設管理維持費用で大きくオーバーしたことが主な要因です。

その他、設備投資等年度償却分としてマイナス220万円、パートからフレンドリー移行の際の調整金でマイナス80万円、正規職員退職金の引当不足分と今年度在籍者分の引当としてマイナス900万円の追加引き当てを行ない収益としては組合員整理益、ミールカード利用の供給値引き予測差異分、連合委託費用の戻し等を処理し、税引き前当期剰



余金は267万円の黒字で終了しました。

北六年度別損益推移	2008実績	2009実績	2010実績	2011実績	2012実績	2013実績	2014実績	2015実績	2016予算
供給高	8,245,419	5,954,292	5,977,527	5,314,442	5,189,514	4,928,919	4,775,999	4,599,392	4,699,499
供給剰余	1,194,701	1,173,235	1,188,193	1,392,779	1,594,959	1,399,894	1,399,999	1,331,132	1,351,991
供給剰余率	19.1%	20.5%	20.0%	26.6%	25.6%	21.5%	21.7%	22.4%	22.4%
利用収入等	199,626	223,691	293,794	267,819	279,416	274,713	297,616	351,292	351,416
供給利用剰余	1,391,327	1,396,926	1,388,944	1,390,989	1,339,374	1,310,907	1,323,275	1,332,394	1,353,007
OFF	22.2%	23.6%	24.1%	23.9%	23.9%	26.6%	27.7%	28.9%	28.9%
人件費	662,126	646,994	627,293	644,579	667,498	777,398	793,469	619,827	797,997
内遊学給与等	98,811	83,999	92,999	49,999	49,999	19,999	24,999	24,999	29,999
労働分配率	97.6%	96.7%	96.9%	99.1%	97.1%	98.1%	98.1%	99.9%	97.1%
物件費	999,248	514,661	921,988	999,971	999,992	999,746	992,297	947,772	999,999
事業剰余	19,959	33,219	20,199	11,543	27,374	24,501	-2,397	-29,239	-10,503
事業剰余率	0.2%	0.5%	0.3%	0.2%	0.5%	0.5%	-0.5%	-0.6%	-0.2%
事業外損益	6,269	7,799	19,997	17,669	11,919	22,974	19,991	29,999	19,999
経常剰余	26,228	40,918	35,745	29,299	39,493	47,075	17,534	-739	6,000
経常剰余率	0.4%	0.7%	0.6%	0.5%	0.7%	0.9%	0.3%	-0.2%	0.1%
特別損益	-7,329	-12,291	-19,979	-19,997	-19,412	-74,917	-19,999	3,499	0
税引前剰余	18,999	28,627	25,766	19,302	23,081	-29,442	1,939	2,999	6,000
法人税等	16,919	26,999	21,999	6,699	14,199	1,999	1,929	929	1,999
当期剰余	2,999	2,139	3,999	9,951	8,943	-39,911	919	2,149	5,999
前期繰越剰余金	-39,997	-34,997	971	1,137	1,133	981	0	199	479
法定準備金	44,226	44,226	11,726	14,726	24,676	34,176	39,446	4,999	6,999
当期末処分剰余金	-34,997	-31,929	4,197	11,999	19,991	-39,939	919	2,313	9,476

○ 供給高： 組合員等が購入した商品やサービスの合計額 ○ 供給剰余： 供給高 - (商品等の原価 + 書籍割引等) ○ 供給剰余率： 供給剰余 ÷ 供給高 ○ 手数料収入等： 利用剰余 + 共済受託手数料 収入 + 供給事業手数料収入 + 不動産賃貸収入 + その他手数料収入 ○ 事業総剰余： 供給剰余 + 利用収入等 [事業活動によってもたらされる収入のすべて] ○ 人件費： 役員・職員への報酬・給与等や社会保険料生協負担分、将来の退職金支払いの準備など ○ 物件費： もの・建物・システムなどにかかる費用 + 事業連合を運営するための費用 ○ 事業剰余： 事業総剰余 - (人件費 + 物件費) [生協本来の活動から生じた剰余金] ○ 事業外損益： 受取利息や配当金 - 支払利息等 ○ 経常剰余： 事業剰余 + 事業外損益 [経常的活動から生じた剰余金] ○ 特別損益： 経常的活動には関係のない収入 - 臨時的に発生した支出や過年度の損益修正等 - 大学への寄付 ○ 税引き前剰余： 経常剰余 + 特別損益 ○ 法人税等： 法人税・道税など [税引前剰余 + 人件費に含まれる将来の退職金を準備する費用等] をもとに計算される ○ 当期剰余： 税引き前剰余 - 法人税等 [この年度に発生した最終的な剰余金] ○ 前期繰越剰余金： 前年度から繰り越された剰余金(欠損)金 ○ 法定準備金： 将来のための利益積立金 ○ 当期末処分剰余金： 当期剰余 + 前期繰越剰余金 [翌年度の総代会でどう処分するか決める剰余金(欠損金)] ○ 決算書の累積剰余： 当期末処分剰余金が総代会の議決により次期繰越剰余金(欠損金)になった場合に、それと過去に出した剰余金の中から積み立ててある法定準備金等を加えたもの ○ 退職給付引当金不足： 実際に引当ててある退職給付引当金 - 本来用意しておかなければならない退職給付引当金

## 第2章 2015 年度剰余金処分

2015 年度は 231.3 万円の当期末処分剰余金が出ました。2015 年剰余金処分を以下のとおりとします。

I 当期末処分剰余金	2,313,169 円
II 法定準備金繰入額	900,000 円
III 任意積立金	1,000,000 円
IV 次期繰越剰余金	413,169 円

# 2015年度事業報告書及び決算関係書類 これらの附属明細書

(全 期)

自 2015年3月 1日

至 2016年2月29日

I 事業報告書

II 事業報告書の附属明細書

III 決算関係書類 (剰余金処分案を除く)

(1) 貸借対照表

(2) 損益計算書

(3) 注 記

IV 決算関係書類の附属明細書

V 剰余金処分案

北海道大学生生活協同組合

# I 2015年度事業報告書

2015年3月1日から2016年2月29日まで

作成 2016年4月 3日  
備付 2016年5月10日

北海道札幌市北区北八条西7丁目1-1  
北海道大学生生活協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

## 【1】組合の事業活動の概況に関する事項

### 1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給及び 利用事業	物品供給	書籍、文具、教育機器、衣料品、電気製品、家具、その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業。
	サービス提供	国内・海外旅行等の旅行業務を取り扱う事業。アパート・下宿の斡旋および管理する事業。その他日常生活に必要なサービスを提供する事業。
	サービス提供	組合員に食事を提供する事業。
その他		組合員のための生命共済、火災共済の業務受託事業。

### 2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

#### ー 1 事業の経過及びその成果、課題

##### (1) 2015年事業課題

2015年度の事業方針は下記の通りです。

- ① 学生等の利用しやすい環境の実現と供給・供給剰余の拡大に向けて、各店の営業時間の見直しを行います。1、2講目前の開店や延長営業等の検討を行います。
- ② 広告収入（HP、機関誌、懸垂幕、新歓冊子等）の増加、折り込チラシの有料化等を含め全体の見直しを進めて、収入を増加させます。
- ③ 自宅生等の入学者の住所把握の拡大に向けて、道内の高校と市内の予備校を訪問し、新歓冊子や資料請求手続きの紹介をして、受験者に渡すお願いを継続します。これにより新学期PC、電子辞書、英語教材、組合員加入、共済加入等の拡大を目指します。
- ④ 14年度と同様に、院生対策として、多くの学部で合格通知者に生協案内物の同封を目指します。お部屋を基軸とした生命共済、火災共済等への拡大を目指します。
- ⑤ ICプリペイドチャージキャンペーンを継続して、チャージ金額を拡大します。ミールカードは価格を下げてお得感を上げて、保有者の拡大を目指します。
- ⑥ 薬学部店（15.4）、歯学部店（15.4）の新店オープンを成功させます。設備投資額は抑え、初年度償却を行った上でも黒字を目指します。

- ⑦ コップパンの操業をフル回転し、購買ランチ店等々での販売を開始して、利益額と利益率の改善を行います。
- ⑧ グローバル人材を育成する「新渡戸カレッジ」等の創設に対応し、生協では側面から応援する事業として、英語研修、海外旅行、留学費用の送金等、関連する分野での提案を強めます。
- ⑨ 学会対応では、総合的な対応を計れるように人員を配置して、事業拡大を計画します。
- ⑩ より広くお知らせするために広報活動の見直しをします。コストは最小限に、環境にやさしい（ごみを出さない）等を配慮しつつ、効果的な対応を考えます。アクションプランをもとに、全体の広報計画をしっかりと立て、実行します。
- ⑪ 電気料金の値上げや労務コストの増加が想定されている中、より厳密な予算作成・精度の向上を行います。投下時間は従来の延長線から新たな配分で計画をし直します。また、供給の拡大に向けたコスト配分を重点的に検討します。
- ⑫ 留学生数の4,000人計画に伴い、生協職員の英語力の向上が要求されてきます。計画的な学習プログラムの検討を開始します。
- ⑬ 全体的に執行速度が遅くなっています。年度課題で掲げた項目以外の変化に対応する判断と対応スピードが問題です。会議は短く、アクションは素早くを追及します。
- ⑭ 各部門で他店を参考に、よりよい売り場づくりを目指します。担当職員が他店を見学して、優れている事柄を自店に持ち帰り、職員間で相互交流が行われる機会を拡大します。
- ⑮ 兼任店舗の運営体制の見直しを検討し、個々の店舗維持力を高めることと職員とのコミュニケーション力を強め、よりスピーディな執行体制を強化していきます。具体的には再雇用者と若手職員の活躍につなげる視点で検討します。

## （2）経済および事業環境

### ① TPP問題の情勢

TPP批准には疑問点が多く、関税が残る品目も5ヶ国の要請で7年後に協議が出来ます。重要5品目は守られておらず、特に酪農家は牛肉関税引き下げと乳製品一部関税撤廃で経営不安となっています。良質な食材を確保するためには従来のような条件では対応できず、価格上昇が迫られています。大学生協にとっても食堂価格やメニュー編成に大きな影響を及ぼすことであり、また共済事業にも大きく関わる問題として、他団体とも連携し、引き続き注視していく必要があります。

### ② 軽減税率問題について

2017年4月からの消費税率10%導入にあわせ、与党自民・公明党は2015年12月に「軽減税率制度」導入に合意したことが発表されました。対象品目は「酒類」と「外食」を除いた「生鮮食品」と「加工食品」となっていますが、線引きについてはあいまいな点があります。また消費税率アップにより低所得者層、特に自炊学生層にはかなりの負担増ともなります。大学生協としては学生の生活が厳しさを増すなか、安心して大学生活をおくれる税制改革の確立を求めていく必要があります。

### ③ 大学の変化

国立大学の運営に関わる運営交付金の在り方をめぐり、機能強化の方向性に応じて運営交付金の配分を変えるような提案が国からなされています。具体的には3類型化と呼ばれ、「世界最高水準の教育研究」「特定の分野で世界的な教育研究」「地域活性化の中核」の3グループにわかれますが、北海道大学は「世界最高水準の教育研究」グループに分類され

ます。これにより、大学ごとで特色がより鮮明になる可能性がありながらも、交付金に差が生じることとなります。国際競争力を高めるために重点的に財政支援するスーパーグローバル大学に指定された大学の中でも「トップ型」「グローバル化牽引型」にわかれており、教員に占める外国人比率の向上や外国語による授業が増える流れになっています。大学内にある組織とともに学生の成長を支援する大学生協として、大学の変化を注視していく必要があります。

#### ④ 学生支援について包括的に協力する動き（大学と大学生協の関係の変化）

多くの大学生協が、大学との関係で福利厚生業務委託契約を結んでいます。近年福利厚生業務の範囲にとどまらない役割を担っていることが大学にも認知され、学生支援などの役割も含めた包括的な協定書を結ぶ大学生協がいくつか出てきています。今後も大学と協力体制を築きながら福利厚生や学生支援の役割を担う動きは重要性を増しています。

### （3）事業の状況

15年度の新学期事業では、保護者説明会の運営やアドバイザー制の変更をおこなったことや、Web 決済による受注ができるようになったことで利便性ははるかに向上したことで、多くの利用をしていただき各数値的にはよい成果を出せました。中でも、保護者説明会等で学生（アドバイザー）を中心とした生協の強みを打ち出したことや、アドバイザーの運営体制を変えたことは、大きな成果だと考えられ、16年度新学期事業につなげています。また購買・食堂で、全学年・教職員を対象としたICカードの春秋のプレミアムチャージ企画の実施＝学内マネーの囲い込み対策により、食品分野や食堂の組合員利用の促進がされ、年間を通し利用に大きくつながっています。

一方、厳しい分野としては、購買部門では校費利用の低迷・電子購買システムの拡大により外壳を中心に文具・PC周辺機器が厳しい状況、書籍部門では雑誌や一般・文芸書などが全国的に紙媒体の購読が減少していることもあり利用が減少しています。旅行部門は政策的に10月より学内訪問営業を廃止したこともあり教職員層の出張利用が減少し、また海外の治安悪化により卒業旅行向け海外パック需要が激減しています。さらに国内、海外航空券ともWEB等に対して価格優位性がなく利用が後退しています。

事業経費では、人件費では退職に伴う人員減などで節約傾向にありますが、最低賃金対応に伴うパート職員の契約の変更で、退職時礼金に予算を大きく上回る1,050万円超過支出しています。また正規職員の退職給与引当不足のため、900万円を追加計上しています。物件費では政策的に行なったポイント還元、プレミアム付与による費用（広報費）の増加の他、予算作成時の漏れによる車両運搬費用の増加、老朽化による厨房機器や設備の故障が想定以上に多く発生し、施設管理費用・減価償却費用で大きくオーバーしています。

### （4）業績

#### 1) 組合員数および出資金

組合員数は25,530人で前年と比較して257人減少、出資金額は3億9,084万円で前年と比較して780万円減少と、それぞれ減少しています。

#### 2) 供給事業

全体の供給高は1億7,871万円前年を下回っています。分野別には、食堂4,506万円の前年伸張、購買1億2,362万円、書籍250万円、サービス9,775万円とそれぞれ減少しています。

#### 3) その他の事業

ルームガイドではWEBの強化、新入学時での見学会の取組み等により斡旋件数が

増加、またマンション管理業務も拡大しています。手数料収入全体では前年から1,178万円増加しています。

#### 4) 事業経費

人件費は前年を1,436万円、予算を971万円それぞれ上回っています。役員の1名減員の他、職員の退職に伴う人員減などで節約傾向にありますが、最賃対応に伴う契約の変更で退職時礼金を予算外で900万円超過支出したことや、退職給付引当金は改めて100%を積み立てることを目指し、前年・予算とも900万円増加させています。

物件費では政策的に行なったポイント還元、プレミアム企画による費用の増加により930万円、車両運搬費用では新学期の好調による配送費の増加はありましたが、一部業務車両の予算漏れがあり360万円の増加がありました。その他大きかったのは老朽化による厨房機器や設備の故障が想定異常に多く発生し施設管理維持費用で644万円と大きくオーバーしました。物件費全体では前年を1,556万円、予算を1,272万円上回っています。

#### 5) 事業外損益

買掛金・睡眠組員等の整理等を行っており、事業外損益で2,551万円計上して、経常剰余は▲73万円です。

#### 6) 特別損益

特別利益で取得税引当過剰分として340万円を計上しています。

#### 7) 当期剰余金

法人税等を52万円計上して、当期剰余金は215万円を終了しています。

法定準備金に90万円引当て、施設整備を目的とした積立金を開始し100万円計上し、次期繰越剰余を41万円とすることを提案します。

## － 2 対処すべき重要な課題

### (1) 事業の展望と課題

大学の変化をいち早く捉え、事業に関わる利用環境の整備を進めます。また今まで以上に組員目線での運営を目指し利用拡大を進めることを課題としています。

生協会館店の活性化と周辺の施設の利用環境の変化にあわせ組員の動向や商品利用構成、利用客数の実態を整理し、大学内の福利厚生施設のあり方・現状の生協店舗のあり方も再検討した上で大学中央キャンパスへの総合福利厚生施設のプランニングを行い実現に向け進めていくことを課題としています。

### 一 3 財産及び損益の状況

#### (1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:千円

項 目	2012年度	2013年度	2014年度	本年度
組合員数	29,954	25,897	25,787	25,530
出資金額	445,209	403,417	398,639	390,837
供給高	5,166,514	4,926,019	4,775,098	4,596,382
その他事業収入	270,418	274,713	287,616	301,232
経常剰余金	39,493	47,074	17,533	▲735
総資産	1,510,354	1,529,241	1,717,571	1,595,695
純資産	479,947	407,264	407,263	397,750

#### (2) 供給事業の状況表

##### 1) 部門別・業態別供給高の状況

単位:千円

項 目	2012年度	2013年度	2014年度	本年度
[部門別供給高]				
物品	2,257,300	2,185,302	2,121,870	2,017,560
書籍	726,988	654,907	663,376	660,875
食堂	811,320	847,026	847,703	892,768
旅行	1,157,608	1,125,659	1,063,464	965,738
その他サービス	213,298	113,125	78,685	59,441
合 計	5,166,514	4,926,019	4,775,098	4,596,382
[業態別供給高]				
店舗	4,355,194	4,078,993	3,927,395	3,703,614
その他	811,320	847,026	847,703	892,768
合 計	5,166,514	4,926,019	4,775,098	4,596,382

##### 2) 供給高の事業所別内訳

単位:千円

項 目	2012年度	2013年度	2014年度	本年度
生協会館 S	394,218	266,728	589,800	545,278
生協会館 <sup>ハ</sup> ソココーナー	247,955	156,516	2014年2月閉店	
北部購買店	453,599	496,841	428,971	409,186
工学部店	173,702	159,867	159,176	149,694
中央店	127,084	116,425	93,790	91,448
コップパン店	24,364	25,807	25,530	26,955
薬学部店	28,865	25,029	25,449	27,740
保健学科店	31,998	23,907	29,459	30,014
獣医学部店	24,207	18,994	17,090	16,528
学生寮店	23,247	12,164	10,573	10,974
歯学部店			2015年4月開店	11,165
水産店	39,056	36,825	38,095	45,411
購買外売店	923,019	1,003,457	884,056	810,409
文系ミニショップ		2014年6月開店	5,009	8,723
理学部ミニショップ		2014年6月開店	4,821	8,556
自販機店	2013年4月開設	19,791	17,821	5,783
北部書籍店	244,274	247,925	230,125	227,641
会館店クラーク	157,296	104,787	123,104	117,063
書籍外売店	199,950	185,108	177,797	182,650
キャリアサポート	112,405	102,599	115,924	116,776
会館店旅行	503,245	144,464	95,039	79,975
北部トラベル店	281,234	611,391	578,938	523,095
印刷情報サービス部	208,989	178,541	166,900	156,378
北部食堂店	319,748	338,540	296,681	318,545
工学部食堂店	142,104	146,909	141,114	141,711
中央食堂店	198,130	202,715	203,706	210,501
クラーク食堂店	85,574	77,377	76,976	81,300
農学部店	55,391	51,121	46,085	45,680
医学部店	81,895	82,983	82,310	84,820
ポプラ店	54,476	56,782	57,902	53,327
水産食堂店	20,373	20,015	19,864	20,659
北部ケータリング		2014年3月開店	21,237	25,520
エルムカフェ	10,116	12,411	11,756	12,877
合 計	5,166,514	4,926,019	4,775,098	4,596,382

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

単位：人

共 済 事 業 の 種 類			契 約 件 数			
学生総合共済	生命共済	元受団体名	契約型	当年度	前年度	前年比
		全国大学生協共済連	A型	8,076	0	-
G型	11		7,859	0.1%		
M型	10		0	-		
R型	0		5	0.0%		
			小計	8,097	7,864	103.0%
火災共済	全国大学生協共済連	KV型	7,836	0	-	
		KT型	225	7,945	2.8%	
		小計	8,061	7,945	101.5%	
合 計				16,158	15,809	102.2%

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

単位：千円

共済事業の種類			元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
元受団体名	契約型		当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比	当年度	前年度	前年比
生命共済 火災共済	大学生協共済連	全型	103,840	100,238	103.6%	637	520	122.5%	62,176	55,434	112.2%
			16,168	15,858	102.0%	23	23	100.0%	5,303	7,053	75.2%
合 計			120,008	116,096	103.4%	660	543	121.5%	67,479	62,487	108.0%

3. 増資および資金の借入その他の資金調達状況

長期固定的なものはありません。

4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

施設・設備名	所在地	摘要
薬学店(購買)	札幌市北区北13条西6丁目	陳列什器、レジカウンター什器、店内サイン、他
歯学部店(購買・食事)	札幌市北区北14条西6丁目	陳列什器、カウンター什器、造作パネル、食事機器他
食堂各店		ゆで麺器入替、設置工事
印刷情報店	札幌市北区北9条西7丁目	電話通信・ネットワーク設備、壁造作工事

5. 他の法人との業務上の提携

ありません。

6. 他の会社を子法人等および関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

新規出資子法人及び関連法人等

単位：千円

法人名	資本金	当期出資額	累積出資額	出資比率	業務内容
㈱エルムプロジェクト	10,000	0	9,900	99.0%	大学グッズの企画制作等
キャンパスライフサポート(㈱)	10,000	0	1,850	18.5%	損保代理店業 他

7. 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受を受け、合併（存続組合）その他の組織の再編成ありません。

## 8. 教育事業等の状況

単位：千円

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		50
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	生協スクール等セミナー、ヒースナウ沖縄・長崎 機関誌「きぼうの虹、Letter」	5,967
合 計		5,967

## 9. 員外利用の状況

大学校費の利用1億32万円、受験宿泊の利用6,688万円、その他、学会来訪時の店舗利用等があります。

## 【2】 組合の運営組織の状況に関する事項

### 1. 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日時	2015年5月27日 18:30開始	
総代会日現在総代数		207名
出席総代組合員数	本 人	67名
	代理人（委任）	0名
	書 面	129名
	計	196名
（重要な議事、議決事項および議決状況）		
第1号議案	2014年度事業報告・決算関係書類等承認の件	承認可決
第2号議案	2015年度事業計画・予算決定の件	承認可決
第3号議案	総代選挙規約・役員選挙規約・総会及び総代会運営規約一部改定の件	承認可決
第4号議案	役員報酬決定の件	承認可決
第5号議案	議案決議効力発生の件	承認可決
	2016年度 役員選挙	全員信任

（注）総代選挙は、総代選挙規約にもとづいて行なわれ、302人の定数に対して207人が立候補し、選挙の結果、2015年5月18日に当選人が公告されました。

## 2. 組合員に関する事項

### （1）組合員出資金等増減表

単位：円

区 分	人 員	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	25,787	398,671	398,639,621	15,459
当期増加分（学生院生）	4,884	92,058	92,058,000	18,849
当期増加分（教職員その他）	889	6,817	6,817,000	7,668
当期減少分（学生院生）	5,333	97,810	97,810,000	18,341
当期減少分（教職員その他）	697	8,900	8,867,900	12,723

### 3. 役員に関する事項

#### (1) 役員一覧表

役名	氏名	就任年月日	略歴等
理事長(代表理事)	柿澤 宏昭	2013年5月25日	14年～理事長
専務理事(代表理事)	岸本 敬一	2008年5月29日	15年～専務理事
常務理事	間宮 春大	2006年5月25日	07年～理事
理事	羽山 広文	2015年5月27日	98年～組合員
理事	藤田 良治	2014年5月28日	14年～理事
理事	仲澤 将夫	2012年5月23日	14年～理事
理事	笠原 敏史	2015年5月27日	14年～教職員組織委員
理事	多谷 司	2015年5月27日	97年～組合員
理事	三上 直之	2015年5月27日	11年～総代
常務理事	大村 龍之介	2012年5月23日	12年～理事
常務理事	小林 士	2012年5月23日	14年～院生委員
理事	谷 遼大	2013年5月23日	13年～理事
理事	山崎 貴史	2015年5月27日	13年～組合員
理事	相田 大輔	2013年5月25日	13年～学生委員
常務理事	川崎 安紋	2014年5月28日	14年～理事会スタッフ
理事	中谷 操希	2014年5月28日	14年～理事会スタッフ
理事	前田 侑紀	2014年5月28日	14年～理事会スタッフ
常務理事	猪瀬 巧	2014年5月28日	14年～理事
理事	白戸 しおり	2014年5月28日	14年～理事
常務理事	中山 拓登	2014年5月28日	14年～学生委員
理事	高橋 真太郎	2014年5月28日	14年～学生委員
監事会議長	坂爪 浩史	2015年5月27日	12年～理事
監事	芦名 優一	2015年5月27日	15年～監事
監事	梶原 龍之介	2015年5月27日	15年～監事
監事	本間 健太	2015年5月27日	15年～監事
監事	吉見 宏	1991年5月22日	91年～監事

#### (2) 事業年度中に辞任した役員

- ・小林 士 理事 以上1名を2016年2月期理事会にて辞任承認

### 4. 職員数およびその増減その他の職員の状況

#### 職員状況表

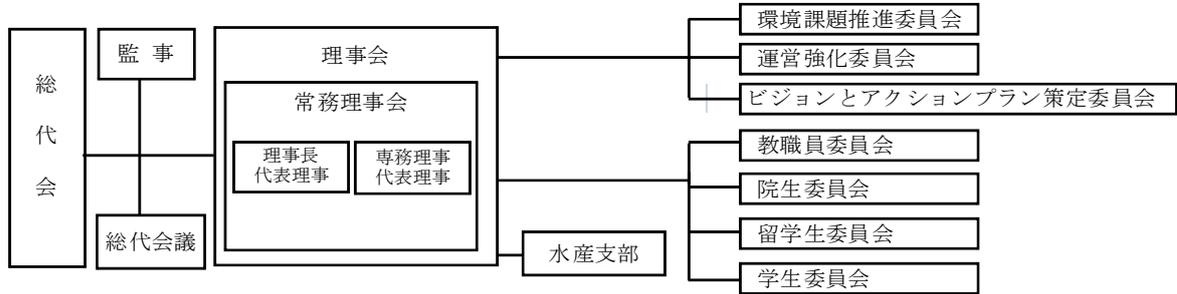
区分		前期末数	当期末数	平均年齢、 平均勤続年数
正規職員		52名	50名	39.6歳 16.3年
	時間数 (総数)	446,334時間 (334名)	451,442時間 (324名)	
	正規換算数	223.1名	225.7名	

(注1) 定時職員の総人数は、年間2,000時間をもって1名として換算しています。

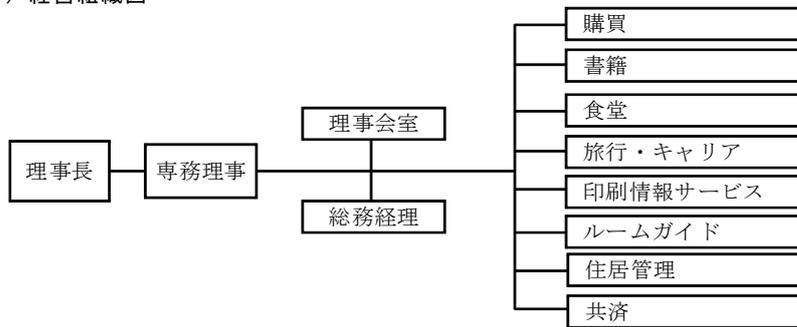
(注2) 上表には出向受入者27名を含んでいます。

## 5. 業務の運営の組織に関する事項

### (1) 運営組織図



### (2) 経営組織図



## 6. 施設の設置状況に関する事項

### 施設一覧表

施設名	所在地	土地 (㎡)	建物 (㎡)		摘要
			延床面積	店舗面積	
(1) 総務	札幌市北区北8条西7丁目				
(2) 店舗					
生協会館・MS棟	札幌市北区北8条西7丁目		4,074.5	1,328.5	
北部厚生センター	札幌市北区北17条西8丁目		4,011.0	1,577.1	借用
工学部店	札幌市北区北13条西8丁目		962.0	483.4	借用
中央厚生センター	札幌市北区北11条西8丁目		1,190.0	473.1	借用
クラーク会館	札幌市北区北8条西8丁目		737.0	615.9	借用
農学部店	札幌市北区北9条西9丁目		268.0	109.0	借用
医学部店	札幌市北区北15条西7丁目		321.0	157.0	借用
獣医学部店	札幌市北区北18条西9丁目		110.9	110.9	借用
歯学部店	札幌市北区北13条西6丁目		43.0	43.0	借用
薬学部店	札幌市北区北12条西6丁目		28.0	28.0	借用
保健学科店	札幌市北区北12条西5丁目		63.0	63.0	借用
学生寮店	札幌市北区北17条西13丁目		16.5	16.5	借用
エルムカフェ	札幌市北区北8条西5丁目		220.0	7.4	借用
ポプラ店	札幌市北区北21条西10丁目		423.0	163.8	借用
文系棟スモールショップ*	札幌市北区北10条西7丁目		3.5	3.5	借用
理学部スモールショップ*	札幌市北区北10条西8丁目		6.5	6.5	借用
水産厚生センター	函館市港町3丁目		519.0	297.8	借用

## 7. 子法人等および関連法人等の状況に関する事項

### (1) 子法人等および関連法人等の概要

区 分		子法人等	関連法人等
会社名		(株) エルムプロジェクト	キャンパスライフサポート (株)
代表者名		岸本 敬一	佐藤 敦紀
設立年月日		2006年4月28日	1969年12月17日
事業内容		大学グッズの企画制作等	損害保険代理店業他
設立の理由		北海道大学の広報活動を行う上で、大学・生協・他の民間企業等では担うことが難しい役割等をおこなうため。	全道大学生協組合員を対象に損害保険代理店業その他を通じ各種サービスを提供し、組合員の利便性を増す。
資本金	資本金	1,000万円	1,000万円
	生協の出資額	990万円	185万円
株式（出資） の状況	発行済株式(出資)の総数	1,000口	200口
	生協の持株(出資)数	990口	37口
	生協の持株(出資)比率(%)	99%	18.5%
決算月日		3月31日	9月30日
主たる事業所（事務所）の所在地		札幌市北区北8条西7丁目	札幌市北区北8条西7丁目
株主（出資者）名		北大生協、(有)工作創庫	北海道事業連合、北大生協
当生協の関係役員 (全て無給)		代表取締役社長 岸本 敬一 取締役 石橋 直樹	取締役 岸本 敬一

### (2) 子法人等および関連法人等の決算概況

単位:円

区 分		子法人等	関連法人等
会社名		(株)エルムプロジェクト	キャンパスライフサポート(株)
科目\決算期		2015年3月31日	2015年9月30日
流動資産		15,656,012	11,091,163
固定資産		0	2
資産合計		15,656,012	65
流動負債		5,518,581	1,073,763
固定負債		0	0
負債合計		5,518,581	1,073,763
資本金		10,000,000	10,000,000
剰余金		137,431	17,402
評価・換算差額等		0	0
純資産合計		10,137,431	10,017,402
負債及び純資産合計		15,656,012	11,091,165
損益の状況			
科目\決算期		自 2015年4月 1日 至 2016年3月31日	自 2014年10月 1日 至 2015年9月30日
売上高		42,508,117	9,387,801
売上総利益		8,323,376	9,387,801
営業利益		147,703	▲ 732,733
経常利益		148,132	▲ 387,726
当期純利益		73,132	▲ 457,726
株主資本等変動計算書			
株主資本	前期末残高	10,897,589	14,975,128
	当期変動額	▲ 760,159	▲ 4,957,726
	当期末残高	10,000,000	10,017,402
評価・換算差額等	前期末残高	0	0
	当期変動額	0	0
	当期末残高	0	0
純資産合計	前期末残高	10,897,589	14,975,128
	当期変動額	▲ 760,159	▲ 4,957,726
	当期末残高	10,000,000	10,017,402

## 8 事業連合に関する事項

### (1) 事業連合の概要

連合会名	大学生協同組合連合会北海道事業連合
所在地	札幌市北区北8条西7丁目1番地
設立年月日	1991年1月25日
事業内容	共同仕入れ及び会員の指導援助
設立の理由	各生協の持つ事業力量を結集し、商品仕入れの集中化、商品開発の推進、事業経営管理の指導強化などにより、事業経営のレベルアップをはかる。
出資金及び総口数	出資金 95,000千円 総口数 9,500口
決算月日	2月29日
出資生協	北海道大学生協同組合 北海学園生活協同組合 酪農学園生活協同組合 北星学園生活協同組合 札幌学院大学生協同組合 北海道教育大学生協同組合 室蘭工業大学生協同組合 帯広畜産大学生協同組合 北見工業大学生協同組合 小樽商科大学生活協同組合 釧路公立大学生協同組合 公立はこだて未来大学生協同組合
当生協の関係役員	理事 岸本 敬一 非常勤・無給 理事長 吉見 宏 非常勤・無給

(注) 出資金及び総口数ならびに出資生協は2016年2月29日現在です。

### (2) 資産・負債・純資産の状況（貸借対照表）

[資産の部]		金額	[負債・純資産の部]		金額
I	流動資産		IV	流動負債	
	現金預金	799,808		買掛金	993,237
	供給未収金	941,816		未払金	92,703
	商品貯蔵品	8,961		その他の負債	589,598
	その他の資産	68,932		流動負債合計	1,675,538
	流動資産合計	1,819,517	V	固定負債	153,891
				負債合計	1,829,430
II	固定資産		VI	出資金	95,000
	1 有形固定資産	3,093	VII	剰余金	
	2 無形固定資産	17,223		1 法定準備金	8,000
	3 その他の固定資産	93,912		2 当期末処分剰余金	1,315
	固定資産合計	114,228		剰余金合計	9,315
III	繰延資産	0		純資産合計	104,315
	資産合計	1,933,745		負債・純資産合計	1,933,745

(3) 損益の状況 (損益計算書)

大学生協 協同組合連合会 北海道事業連合

自 2015年3月 1日

至 2016年2月 29日

単位：千円

供給高		7,998,654
期首原料商品	9,253	
仕入高	7,964,806	
期末原料商品	<u>6,609</u>	<u>7,967,450</u>
供給剰余金		31,204
会員業務受託収入	211,001	
その他手数料収入	<u>119,000</u>	<u>330,001</u>
供給利用剰余金		361,205
人件費	219,690	
物件費	<u>149,176</u>	
事業経費計		<u>368,866</u>
事業剰余金		▲ 7,661
営業外収入		10,267
営業外費用		<u>1,844</u>
経常剰余金		762
特別損益		<u>▲ 15</u>
税引前剰余金		747
法人税等		<u>0</u>
当期剰余金		747
当期首繰越剰余金		569
当期末処分剰余金		1,316

(注)上記の貸借対照表は、当事業報告書作成時点では、北海道事業連合は総会の議決を経ていませんので確定していませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類にもとづいて記載しています。

(4) 事業連合との取引等の状況

単位：千円

区 分	経常収益		経常費用		その他取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収 益	費 用	その他
大学生協北海道事業連合		9,732	3,878,799	18,996	86,372	68,878	
対取引高率 (%)			96.1%				

9. その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項

特にありません。

【3】その他組合の状況に関する重要な事項

特にありません。

## Ⅱ 2015年度事業報告書の附属明細書

2015年3月1日から2016年2月29日まで

作成 2016年4月 3日  
備付 2016年5月10日

北海道札幌市北区北八条西7丁目1-1  
北海道大学生生活協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

### 1. 役員報酬等の状況

#### (1) 役員報酬明細

単位:千円

区分	定款上の定員(人)	支払人員(人)	報酬等支払額	摘要
理事	16~21人	21人	10,019	総代会の決定に基づく理事報酬の限度額は14,000千円、監事報酬の限度額は35万円です。
監事	3~5人	5人	324	
合計	19~26人	26人	10,343	

#### (2) 役員退職金明細

該当する項目はありません。

### 2. 役員と他の法人等(関連会社および事業連合)の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏名	兼務先名	兼務先での役職名
理事	非常勤	有	岸本 敬一	株式会社 エルムプロジェクト	代表取締役
理事	非常勤	無	岸本 敬一	大学生生活協同組合連合会北海道事業連合	常務理事
理事	非常勤	無	岸本 敬一	キャンパスライフサポート 株式会社	取締役
理事	非常勤	無	岸本 敬一	コープ総合サービス 株式会社	取締役
監事	非常勤	有	吉見 宏	大学生生活協同組合連合会北海道事業連合	理事長

### 3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

ありません。

### 4. 事業連合に関する事項

#### (1) 事業連合に対する債権・債務明細表

##### ① 債権明細表

単位:千円

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
北海道事業連合	104,299	24,828	▲ 79,471	39,000	39,000	0

##### ② 債務明細表

単位:千円

区 分	短期債務			長期債務		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
北海道事業連合	550,319	467,029	▲ 83,290	0	0	0

### Ⅲ 2015年度決算関係書類

作成 2016年4月1日  
備付 2016年5月1日

札幌市北区北8条西7丁目1-1  
北海道大学生生活協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

#### (1) 貸借対照表

#### 貸 借 対 照 表 (2016年2月29日現在)

単位:円

科 目	金 額	科 目	金 額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
流 動 資 産	704,441,918	流 動 負 債	907,241,634
現金預金	214,443,253	買掛金	472,056,691
供給債権	192,096,354	短期借入金	120,000,000
商品及び原材料	256,517,355	未払金	12,745,126
貯蔵品	158,000	未払法人税等	722,900
立替金	1,044,360	未払消費税等	22,171,097
前払費用	2,294,847	未払費用	52,329,892
未収金	39,982,749	前受金	102,757,362
短期貸倒引当金	▲ 2,095,000	預り金	118,894,566
		賞与引当金	5,564,000
固 定 資 産	891,252,834	固 定 負 債	290,703,228
有形固定資産	753,459,202	退職給付引当金	282,703,228
建物及び付属設備	758,636,525	預り保証金	2,000,000
建物及付属設備減価償却累計額	▲ 134,226,818	長期未払金	6,000,000
器具備品	351,079,613		
器具備品減価償却累計額	▲ 281,513,100		
土地	59,482,982	負 債 合 計	1,197,944,862
建設仮勘定	0		
無形固定資産	15,187,108	( 純 資 産 の 部 )	
ソフトウェア	15,187,108	組 合 員 資 本	397,749,890
その他の無形固定資産	0	出資金	390,836,721
その他の固定資産	122,606,524	剰余金	6,913,169
関係団体出資金	82,251,000	法定準備金	4,600,000
子会社等株式	11,750,000	当期末処分剰余金	2,313,169
長期貸付金	2,254,220	(うち当期剰余金)	2,148,373
差入保証金	22,200,000		
その他固定資産	4,176,304	純 資 産 合 計	397,749,890
長期貸倒引当金	▲ 25,000		
資 産 合 計	1,595,694,752	負 債 ・ 純 資 産 合 計	1,595,694,752

## (2) 損益計算書

損 益 計 算 書  
自2015年3月1日 至2016年2月29日

単位:円

科 目	金	額
供給事業		
供給高	4,596,382,248	
供給値引	<u>33,493,321</u>	4,562,888,927
供給原価		
期首商品棚卸高	226,975,385	
仕入高	<u>3,561,298,890</u>	
合計	3,788,274,275	
期末商品棚卸高	<u>256,517,355</u>	3,531,756,920
供給剰余金		<u>1,031,132,007</u>
その他の事業収入		
利用事業剰余金	183,640	
共済受託手数料収入	16,115,489	
供給事業手数料収入	37,231,583	
不動産賃貸収入	86,049,355	
その他手数料収入	<u>161,651,600</u>	
その他事業収入計		301,231,667
事業総剰余金		<u>1,332,363,674</u>
事業経費		
人件費	810,826,749	
物件費	<u>547,771,622</u>	1,358,598,371
事業損失金		<u>26,234,697</u>
事業外収益		
受取利息	28,402	
受取配当金	524,800	
雑収入	<u>27,197,800</u>	27,751,002
事業外費用		
支払利息	222,902	
雑損失	<u>2,028,582</u>	2,251,484
経常損失金		<u>735,179</u>
特別利益		
不動産取得税積立取崩差益	<u>3,548,400</u>	3,548,400
特別損失		
固定資産除却損	144,848	
北海道大学寄附金	<u>0</u>	144,848
税引前当期剰余金		<u>2,668,373</u>
法人税等		520,000
過年度法人税等		<u>0</u>
当期剰余金		2,148,373
当期首繰越剰余金		164,796
積立金取崩額		<u>0</u>
当期末処分剰余金		<u>2,313,169</u>

### (3) 注記

#### 1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

① 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

② 棚卸資産の評価基準および評価方法

書籍・購買・旅行 (商品)	売価還元法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下にもとづく簿価切り下げの方法により算定）
食堂（食材）	最終仕入原価法による原価法（ 〃 ）
印刷情報（資材）	最終仕入原価法による原価法（ 〃 ）

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

① 有形固定資産 定率法

（リース資産を除く） ただし、1998年3月31日以前に取得した建物は定率法、それ以降の取得については定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物	20年～47年
建物附属設備	3年～20年
器具備品	4年～15年

② 無形固定資産 定額法

なお、ソフトウェアは利用期間（5年）にもとづく定額法

③ リース資産 ありません。

④ その他の固定資産 定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

大学寄贈施設等	5年～13年
パソコン	3年

(3) 引当金の計上基準は以下のとおりです。

① 貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額及び貸倒懸念債権について回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています。

(4) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しています。

#### 2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

#### 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務は以下のとおりです。

該当事項はありません。

(2) 役員に対する金銭債権または金銭債務

該当事項はありません。

(3) 課税売上にかかる仮受消費税額は、364,262,215円です。

#### 4. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の内訳は以下のとおりです。

① 雑収入のうち、3,036,523円はミールカード利用3月残高整理益、784,955円は買掛金整理益です。

雑収入のうち、13,662,700円は出資金整理益、3,336,051円は長期預り金処理益です。

雑収入のうち、3,775,237円は自販機関連収益です。

② 雑損失のうち、641,400円は出資金整理後返還金による損失です。

雑損失のうち500,000円は現金残高調整損金による損失です。

(2) 特別損益の内訳は以下のとおりです。

① 不動産取得税積立取崩差益	3,548,400 円
② 固定資産除却損	144,848 円

(3) 計上科目の変更は以下の通りです。  
該当事項はありません。

(4) 法人税等には、法人税、住民税および事業税が含まれています。

(5) 当期首繰越剰余金はありませんので、剰余金処分により繰越する消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金50,000円が含まれています。

## 5. 剰余金に関する注記

(1) 法定準備金は、消費生活協同組合法第51条の4第1項の規定にもとづく積立金です。

(2) 積立金について

施設整備積立金は、施設整備のため自己投資・大学への寄付等として活用することを目的とし、1億円を目標に新たに積み立てます。

(2) 次期繰越剰余金には、消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金150,000円が含まれています。

## 6. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上基準

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用）を退職給付引当金として計上しています。また、会計基準変更時差異の費用処理方法は、その発生年度の職員の平均残存勤務期間内の一定の年数（14年）による定額法により、費用処理することとしています。

(2) 採用する退職給付制度

職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度を採用しています。

(3) 職員の退職一時金制度の退職給付債務等の内容

①退職給付債務およびその内訳

退職給付債務	378,180,000 円
会計基準変更時差異の未処理額	95,476,772 円

②退職給付費用の内訳

当期発生費用処理額	10,689,000 円
会計基準変更時差異の費用処理額	23,628,000 円

③会計基準変更時差異の処理年数

14年間で定額法により処理しています。

残り4年での処理の計画となっていますが、引当率を考慮して加減を行っています。

④退職給付引当金の退職債務に対する引当率は、74.8%となります。

(4) 企業年金基金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主により設立された企業年金である総合設立型基金のため退職給付債務は計上していません。

なお、要拠出額を退職給付費用として処理している複数事業主制度に関する事項は以下のとおりです。

①制度全体の積立状況に関する事項（2015年3月31日）

年金時価資産額	37,994,600,971 円
年金財政計算上の給付債務の額	31,229,333,000 円
差引額	6,765,267,971 円

②制度全体に占める当生協の掛金割合（2015年3月分）

0.18%

③補足説明

上記①の差引額の主な要因は、積立不足金です。なお、繰越不足金および過去勤務債務残高はありません。

## 7. 税効果会計に関する注記

一時差異の金額に重要性がないため、該当事項はありません。

## 8. リースにより使用する固定資産に関する注記

(1) オペレーティング・リースにより使用する固定資産

該当事項はありません。

(2) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

①リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、および期末残高相当額

単位：円

資産の種類	取得価額相当額	減価償却累計額相当額	期末残高相当額
車輛運搬具	21,547,656	11,645,152	9,902,504
器具備品	31,213,992	13,903,240	17,310,752
合計	52,761,648	25,548,392	27,213,256

②未経過リース料期末残高相当額

1年以内 10,936,416 円

1年超 16,276,840 円

合計 27,213,256 円

③支払リース料および減価償却費相当額

支払リース料 11,866,832 円

減価償却費相当額 11,866,832 円

④減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっています。

## 9. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 会社等

単位：千円

種類	法人等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	(株)エムプロジェクト	9,900	直接99%	役員兼任2名	経費立替	8,334	立替金	708
関連法人	キャンパスライフサポート(株)	1,850	直接18.5%	役員兼任2名	業務委託・経費立替	6,682	立替金	67

(2) 組合

単位：千円

種類	法人等の名称	資本金又は出資金	議決権等の所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協北海道事業連合	39,000	直接8.33%	仕入先役員兼任1名	商品仕入	3,878,799	買掛金	464,645
					業務委託	28,488	未収金	24,828

(取引条件および取引条件の決定方針等)

商品の仕入については、市場の実勢価格を勘案して価格を決定しています。なお、上記金額のうち、取引金額については消費税等が含まれていませんが、期末残高には含まれています。

(3) 役員およびその近親者

該当事項はありません。

## 10. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

## 11. その他の注記

該当事項はありません。

## IV 2015年度決算関係書類の附属明細書

作成 2016年4月1日  
備付 2016年5月1日

札幌市北区北8条西7丁目1-1  
北海道大学生協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

### 1. 組合員資本の明細

単位:円

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
組合員出資金	398,639,621	59,344,800	67,147,700	390,836,721	
法定準備金	3,846,235	753,765		4,600,000	(注1)
任意積立金	0			0	
当期末処分剰余金	918,561	2,828,373	753,765	2,993,169	(注2)
合計	479,946,837	62,926,938	67,901,465	398,429,890	

(注1)減少は前年度の剰余金処分による計上額です。(注2)増加は前年度の剰余金処分と当期剰余金です。

### 2. 借入金の明細

(1) 長期借入金等の増減  
該当事項はありません。

(2) 短期借入金等の増減

単位:円

借入先	期首残高	当期増減額	期末残高
北洋銀行北七条支店	90,000,000	▲ 25,000,000	65,000,000
北海道銀行札幌駅北口支店	70,000,000	▲ 15,000,000	55,000,000
合計	160,000,000	▲ 40,000,000	120,000,000

(注)借入金平均利率は0.58%です。

### 3. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

単位:円

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減損損失累計額	減価償却累計額	期末取得原価
有形固定	建物及び附属設備	654,867,966			30,458,259	624,409,707		134,226,818	758,636,525
	器具備品	72,920,529	27,889,020	4,997,000	26,246,036	69,566,513		281,513,100	351,079,613
	土地	59,482,982				59,482,982			
	小計	787,271,477	27,889,020	4,997,000	56,704,295	753,459,202	0	415,739,918	1,109,716,138
無形固定	ソフトウェア	6,439,484	11,726,425		2,978,801	15,187,108			
	その他無形固定資産	0				0			
	小計	6,439,484	11,726,425	0	2,978,801	15,187,108	0		
合計	236,366,868	39,615,445	4,997,000	59,683,096	768,646,310	0			

※有形固定資産の増加は薬学部・歯学部店の改装・新設・食堂各店什器入替・購買冷蔵機入替によるもの1,450万円、ゆで麺器導入770万円、エアコン198万円、メールサーバー97万円、RGサーバー70万円、印刷移転費用202万円です。減少は食堂什器・ゆで麺器の除却で、伴って償却額の戻しを行っています。

※ソフトウェアの増加は校費システム電子購買対応150万円、書籍外売システム開発費190万円、RG管理システム190万円、生協Web改修451万円、Office更新192万円です。

### 4. 関係団体等出資金の明細

単位:円

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
関係団体出資金	全国大学生協連合会	24,351,000			24,351,000
	大学生協北海道事業連合	39,000,000			39,000,000
	北海道労働金庫	10,840,000			10,840,000
	賀川記念教育基金	440,000			440,000
	北海道生協連合会	10,000			10,000
	北海道書店組合	10,000			10,000
	大学生協共済連合会	7,600,000			7,600,000
	小計	82,251,000	0	0	82,251,000
子会社等株式	(株)エルムプロジェクト	9,900,000			9,900,000
	キャンパスライフサポート(株)	1,850,000			1,850,000
	小計	11,750,000	0	0	11,750,000
合計	94,001,000	0	0	94,001,000	

## 5. 引当金の明細

単位:円

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
短期貸倒引当金	2,342,000	2,095,000	2,342,000	2,095,000	(注1)
賞与引当金	4,914,000	47,645,000	46,995,000	5,564,000	
退職給付引当金	279,142,728	46,711,000	43,150,500	282,703,228	目的使用
長期貸倒引当金	48,000	25,000	48,000	25,000	(注1)
合 計	286,446,728	96,476,000	92,535,500	290,387,228	

(注1)増加及び減少は洗い替えによるものです。

## 6. 事業経費の明細

単位:円

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	10,343,000
職員給与	227,544,388
定時職員給与	459,752,659
退職給付費用	24,000,000
法定福利費	67,842,672
厚生費	19,664,592
派遣人件費	1,679,438
人件費合計	810,826,749
2. 物件費	
教育文化費	5,966,825
広報費	61,273,050
消耗品費	41,597,188
物流費	10,645,800
車輛運搬費	32,090,970
貸倒引当金繰入額	▲ 270,000
施設維持管理費	34,921,763
減価償却費	69,130,302
貸借料	13,241,758
水道光熱費	65,782,927
保険料	1,328,731
委託料	75,394,460
研修採用費	2,445,945
調査研究費	1,020,492
会議費	2,999,120
諸会費	14,334,790
渉外費	232,352
租税公課	9,215,537
通信交通費	14,109,752
事業連合委託費	92,128,000
雑費	181,860
物件費合計	547,771,622
事業経費合計	1,358,598,371

## 7. 事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細

事業は供給・利用事業のみのため事業の種類ごとの損益の明細および事業別事業経費明細は、損益計算書および事業経費の明細と同じです。

## 8. キャッシュ・フロー計算書

2015 年度

単位:千円

内 訳	金額
事業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期利益	2,668
減価償却費(有形固定資産)	61,556
減価償却費(無形固定資産)	7,573
貸倒引当金の増減額	▲ 270
賞与引当金の増減額	650
退職給付引当金の増減額	3,560
役員退職引当金の増減額	0
受取利息及び受取配当金	▲ 553
支払利息	223
有形固定資産除却損	145
開発費償却額	0
供給債権の増減額	22,802
棚卸資産の増減額	▲ 29,682
仕入債務額の増減額	▲ 79,528
未払金の増減額	▲ 11,603
前受金・預り金等の増減額	11,907
その他流動資産の増減額	78,495
その他流動負債の増減額	3,000
小計	70,943
利息及び配当金の受取額	553
利息の支払額	▲ 223
法人税等の支払額	▲ 867
(1)	70,406
投資からのキャッシュフロー	
長期預金預入による支出	▲ 1,000
長期預金払戻による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出額	▲ 27,889
無形固定資産の取得による支出額	▲ 11,726
関係団体出資金等の出資支出額	0
貸付による支出	0
貸付金の回収による収入	2,067
(2)	▲ 37,548
財務からのキャッシュフロー	
短期借入金の増減額	▲ 40,000
長期借入金の増減額	0
出資金の増減額	▲ 7,803
任意積立金の増減額	0
(3)	▲ 47,803
現金及び現金同等物の増加額	▲ 14,945
現金及び現金同等物の期首残高	228,388
現金及び現金同等物の期末残高	213,443

(注) 現金及び現金同等物の範囲

単位:千円

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	229,388	214,443
預入期間が3か月を超える定期預金	▲ 1,000	▲ 1,000
現金及び現金同等物	228,388	213,443

9. 主要な事業に係る資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主要な資産の内容

① 現金預金の明細

単位:円

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額		
現金預金	現 金	出 納	30,866,922	28,194,425	▲ 2,672,497	
		水産支部	384,791	530,693	145,902	
		小口現金	5,113,600	4,818,600	▲ 295,000	
		会館店1F	435,000	435,000	0	
		購買部北部店	520,000	520,000	0	
		購買部工学部店	210,000	210,000	0	
		購買部中央店	155,000	155,000	0	
		購買部薬学部店	30,000	30,000	0	
		購買部保健学科店	40,000	40,000	0	
		購買部獣医学部店	100,000	100,000	0	
		購買部学生寮店	40,000	40,000	0	
		購買部歯学部店	0	50,000	50,000	
		購買部文系ショップ	30,000	30,000	0	
		購買部理学部ショップ	30,000	30,000	0	
		購買部ミュージアムショップ	50,000	0	▲ 50,000	
		購買部エルムの森ショップ	55,500	55,500	0	
		購買部外売店	30,000	30,000	0	
		購買部学水産店	100,000	100,000	0	
		書籍部北部店	150,000	170,000	20,000	
		書籍部クラーク店	220,000	240,000	20,000	
		書籍部外売店	50,000	50,000	0	
		キャリサポート店	50,000	50,000	0	
		北部トラベルセンター	105,000	70,000	▲ 35,000	
		印刷情報サービス	180,500	180,500	0	
		ルームガイド	150,000	150,000	0	
		食堂部北部店	270,000	270,000	0	
		食堂部工学部店	83,700	83,700	0	
		食堂部中央店	23,300	23,300	0	
		食堂部クラーク店	60,000	60,000	0	
		農学部食堂	100,000	100,000	0	
		医学部食堂	60,000	60,000	0	
		レストランボプラ	30,000	30,000	0	
		食堂部水産店	115,600	115,600	0	
		理事会室小口出資	440,000	140,000	▲ 300,000	
		総務部金庫両替	500,000	500,000	0	
		総務部水産支部	700,000	700,000	0	
		当座預金	ゆうちょ銀行口座	10,006,999	3,490,780	▲ 6,516,219
		普通預金	北洋銀行北七条支店	173,625,237	160,970,246	▲ 12,654,991
			北海道銀行札幌駅北口支店	5,624,627	9,139,998	3,515,371
			北海道銀行函館支店	1,681,381	4,868,760	3,187,379
			北海道労金札幌北支店	1,084,896	1,429,751	344,855
	定期預金	北洋銀行北七条支店	1,000,000	1,000,000	0	
	合 計		229,388,453	214,443,253	▲ 14,945,200	

② 供給債権の明細

イ. 内 訳

単位:円

内 訳	金 額
組合員(私費等)	157,041,116
大学(校費)	14,960,893
Tuoカード未収金	376,876
一般カード未収金	19,717,469
合 計	192,096,354

ロ. 回収状況

単位:円

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回 収 率
214,898,761	3,278,613,021	3,301,415,428	192,096,354	95%

③ 有価証券の明細

該当するものではありません。

④ 商品および貯蔵品の明細

単位:円

内 訳		金 額
商 品	文具・サプライ	19,581,573
	情報機器	47,133,219
	PCソフト	1,936,786
	衣料・スポーツ関連	3,385,567
	AV家電家具	2,700,611
	日用雑貨	2,424,274
	飲料・食料品全般	8,884,693
	コピー・写真・印刷	1,711,199
	官製品	1,523,962
	物販その他	3,679,866
	旅行関連品	9,487,840
	書籍関連品	150,020,160
	食堂原材料	3,870,123
	コップパン原材料	177,482
小 計	256,517,355	
貯蔵品	購買外壳納品伝票 (4P)	158,000
小 計	158,000	
合 計	256,675,355	

⑤ 短期貸付金の明細

該当するものではありません。

⑥ 立替金の明細

単位:円

内 訳		金 額
(株)エルムプロジェクト キャンパスライフサポート(株) 商品代金 (教材PC用メモリ)		708,961
		67,699
		257,580
小 計	1,034,240	
共済解約返戻立替金		10,120
小 計	10,120	
合 計	1,044,360	

⑦ 未収金の明細

単位:円

内 訳		金 額
北海道事業連合 アベックス (自販機) 北海道大学 (国際伏見・入構証・図書館配送・文献複写) 日本出版販売(株) (図書カード・図書券) 保険料 北海道ブロック NR I (接触ICRW保守料戻り)		24,828,385
		13,069,181
		1,485,785
		357,043
		107,739
		75,000
		59,616
	合 計	39,982,749

⑧ その他の流動資産の明細

単位:円

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
前 渡 金	ありません	0	0	0
	小 計	0	0	0
前払費用	北海道労働局 (労働保険料)	869,105	870,213	1,108
	動産総合保険料・自動車保険料	1,094,338	1,087,578	▲ 6,760
	北海道大学備品賃借料	265,371	256,056	▲ 9,315
	書籍在庫管理保守料	81,000	81,000	0
	小 計	2,309,814	2,294,847	▲ 14,967
合 計	計	2,309,814	2,294,847	▲ 14,967

⑨ その他の出資金の明細

該当するものではありません。

## ⑩ 長期貸付金の明細

単位:円

内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
役職員	4,320,560	2,254,220	▲ 2,066,340
合 計	4,320,560	2,254,220	▲ 2,066,340

## ⑪ 差入保証金の明細

単位:円

内 訳	期末残高
総合警備(株) (店舗両替金預託)	15,000,000
全国大学生協連 (旅行保証金)	3,000,000
全国旅行業協会	2,800,000
不動産協会	600,000
JTB (旅ネット端末保証金)	500,000
全旅協クーポン会	210,000
日本図書普及(株)図書券販売加入金	60,000
日本図書普及(株)図書カード端末保証金	30,000
合 計	22,200,000

## ⑫ その他固定資産の明細

単位:円

内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
医学部生協用内装工事一式	1,903,840	1,523,070	▲ 380,770
医学部食堂テーブル・椅子	470,440	313,620	▲ 156,820
医学部生協用空調工事一式	1,374,000	687,000	▲ 687,000
医学部生協用電気工事一式	746,000	373,000	▲ 373,000
工学部冷房工事一式	472,000	236,000	▲ 236,000
工学部冷房用電気工事一式	145,000	72,500	▲ 72,500
工学部食堂棟増築工事	1,314,285	657,142	▲ 657,143
工学部食堂テーブル・椅子	1,276,830	0	▲ 1,276,830
ポプラ店特注テーブル・椅子	266,668	133,335	▲ 133,333
北部店テーブル・椅子	167,204	83,605	▲ 83,599
一括償却資産 (13年度)	441,025	0	▲ 441,025
一括償却資産 (14年度)	194,066	97,032	▲ 97,034
合 計	8,771,358	4,176,304	▲ 4,595,054

## (2) 主要な負債の内容

## ① 支払手形の明細

該当するものはありません。

## ② 買掛金の明細

単位:円

内 訳	金 額
北海道事業連合	464,645,536
そ の 他	7,411,155
合 計	472,056,691

## ③ 未払金の明細

単位:円

内 訳	金 額
北海道事業連合	2,382,627
北海道大学 (水光熱費等)	3,186,459
工作創庫 (印刷情報工事)	2,985,660
自然農園 (h p 作成費用)	2,430,000
リコーリース (複合機 2月分)	14,580
クラーク書籍経費	172,800
生協職員 (パート切替退職時礼金)	1,573,000
合 計	12,745,126

## ④ 未払法人税等の明細

単位:円

内 訳	金 額
法人税、法人道民税・事業税、法人市民税	722,900
合 計	722,900

⑤ 未払費用の明細 単位:円

内 訳	金 額
未払職員給与	32,349,866
北海道大学 (ショップ)	1,182,324
北海道大学 (自販機関連)	18,105,662
北海道コココーラ	692,040
社会保険料未払金	0
合 計	52,329,892

⑥ 前受金の明細 単位:円

内 訳	金 額
組合員 (ICプリペイド代金)	69,050,518
組合員 (ミールカード代金)	10,406,952
組合員 (卒業アルバム代金)	13,200,840
組合員 (公務員講座前受金)	8,695,204
組合員 (卒業記念印鑑代)	1,106,000
組合員 (受験宿泊代金一部)	200,000
組合員 (商品代金)	37,788
書籍前受金 (各店)	60,060
合 計	102,757,362

⑦ 預り金の明細 単位:円

内 訳	金 額
組合員 (マンション敷金)	16,034,659
組合員 (ルームガイド預り)	9,682,198
組合員 (MS清掃料)	7,765,830
組合員 (MS管理預り金)	972,195
組合員 (駐車場保証金)	82,890
組合員 (町内会費)	175,900
組合員 (カード保証料)	0
組合員 (ICプリペイド預り)	386,910
組合員 (学生生活110番)	115,820
組合員 (新入生預り金未振分処理分)	2,101,810
北海道大学 (留学生寄宿舎料)	68,481,044
北海道大学 (外国人宿舎)	114,312
北海道大学 (自販機設置賃料電気料)	1,919,252
北海道大学 (学生・教職員証再発行料金)	1,285,600
北海道大学 (入構IC手続料)	119,180
北海道大学 (文献複写)	113,357
社内団体預り金	5,295,489
日生協健保 (予防接種補助金)	6,000
職員 (給与控除)	3,761,820
小 計	118,414,266
組合員 (学生総合共済掛金)	480,300
小 計	480,300
合 計	118,894,566

⑧ 預り保証金の明細 単位:円

内 訳	金 額
アベックス (自動販売機保証金)	2,000,000
合 計	2,000,000

⑨ 長期未払金の明細 単位:円

内 訳	金 額
マンション修繕積立金	6,000,000
合 計	6,000,000

## (3)比較貸借対照表および比較損益計算書

## ① 比較貸借対照表

単位:円

資産の部	2014年度	2015年度	負債・純資産の部	2014年度	2015年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	790,755,932	704,441,918	流動負債	1,026,164,666	907,241,634
現金預金	229,388,453	214,443,253	買掛金	551,584,738	472,056,691
売掛債権	214,898,761	192,096,354	短期借入金	160,000,000	120,000,000
商品及び原材料	226,994,135	256,675,355	未払金	26,397,502	12,745,126
立替金	575,353	1,044,360	未払法人税等	1,070,000	722,900
前払費用	2,309,814	2,294,847	未払消費税等	34,731,697	22,171,097
未収金	118,931,416	39,982,749	未払費用	50,281,416	52,329,892
短期貸倒引当金	▲ 2,342,000	▲ 2,095,000	前受金	107,972,818	102,757,362
未収消費税等	0	0	預り金	89,212,495	118,894,566
固定資産	922,955,879	891,252,834	賞与引当金	4,914,000	5,564,000
有形固定資産	787,271,477	753,459,202	固定負債	284,142,728	290,703,228
建物及び付属設備	758,636,525	758,636,525	退職給付引当金	279,142,728	282,703,228
減価償却累計額	▲ 103,768,559	▲ 134,226,818	預り保証金	2,000,000	2,000,000
	654,867,966	624,409,707	長期未払金	3,000,000	6,000,000
車両運搬具	0	0	負債合計	1,310,307,394	1,197,944,862
減価償却累計額	0	0			
	0	0	(純資産の部)		
器具備品	328,187,593	351,079,613	組合員資本	403,404,417	397,749,890
減価償却累計額	▲ 255,267,064	▲ 281,513,100	出資金	398,639,621	390,836,721
	72,920,529	69,566,513	剰余金	4,764,796	6,913,169
土地	59,482,982	59,482,982	法定準備金	3,846,235	4,600,000
建設仮勘定	0	0	当期末処分剰余金	918,561	2,313,169
無形固定資産	6,439,484	15,187,108	(うち当期剰余金)	918,561	2,148,373
ソフトウェア	6,439,484	15,187,108	純資産合計	407,263,556	397,749,890
その他固定資産	129,244,918	122,606,524			
関係団体出資金	82,251,000	82,251,000			
子会社等株式	11,750,000	11,750,000			
長期貸付金	4,320,560	2,254,220			
差入保証金	22,200,000	22,200,000			
長期貸倒引当金	▲ 48,000	▲ 25,000			
その他	8,771,358	4,176,304			
資産合計	1,713,711,811	1,595,694,752	負債・純資産合計	1,717,570,950	1,595,694,752

## (3) 比較貸借対照表および比較損益計算書

## ② 比較 損 益 計 算 書

単位:円

勘定科目	2014年度実績	2015年度予算	2015年度実績	対前年増減額	対予算差異額
供給高引	4,775,098,370	4,824,351,000	4,596,382,248	▲ 178,716,122	▲ 227,968,752
供給値	32,709,992	40,457,000	33,493,321	783,329	▲ 6,963,679
供給高価	4,742,388,378	4,783,894,000	4,562,888,927	▲ 179,499,451	▲ 221,005,073
供給原価	3,706,729,609	3,750,180,000	3,531,756,920	▲ 174,972,689	▲ 218,423,080
供給総剰余金	1,035,658,769	1,033,714,000	1,031,132,007	▲ 4,526,762	▲ 2,581,993
利用事業剰余金	117,000	0	183,640	66,640	183,640
供給受託手数料収入	15,532,706	15,300,000	16,115,489	582,783	815,489
供給事業手数料収入	37,133,629	30,640,000	37,231,583	97,954	6,591,583
不動産賃貸収入	84,993,137	90,940,000	86,049,355	1,056,218	▲ 4,890,645
その他手数料収入	149,839,641	158,623,000	161,651,600	11,811,959	3,028,600
その他事業収入計	287,616,113	295,503,000	301,231,667	13,615,554	5,728,667
事業総剰余金	1,323,274,882	1,329,217,000	1,332,363,674	9,088,792	3,146,674
役員報酬	17,602,000	10,200,000	10,343,000	▲ 7,259,000	143,000
定職給	234,238,220	229,257,000	227,544,388	▲ 6,693,832	▲ 1,712,612
退職給付	441,608,836	469,531,000	459,752,659	18,143,823	▲ 9,778,341
法定福利	24,000,000	15,000,000	24,000,000	0	9,000,000
厚生	66,252,213	66,768,000	67,842,672	1,590,459	1,074,672
遣人件費	8,689,025	7,358,000	19,664,592	10,975,567	12,306,592
人件費合計	1,075,305	0	1,679,438	604,133	1,679,438
	793,465,599	798,114,000	810,826,749	17,361,150	12,712,749
教育文化	5,839,043	6,634,000	5,966,825	127,782	▲ 667,175
広告	52,233,902	52,451,000	61,273,050	9,039,148	8,822,050
消耗品	43,183,516	38,953,000	41,597,188	▲ 1,586,328	2,644,188
物流	10,788,161	11,372,000	10,645,800	▲ 142,361	▲ 726,200
車輻搬	28,953,068	28,462,000	32,090,970	3,137,902	3,628,970
貸倒引当金繰入	90,000	0	▲ 270,000	▲ 360,000	▲ 270,000
施設維持管理	34,234,124	28,479,000	34,921,763	687,639	6,442,763
減価償却	69,928,132	66,643,000	69,130,302	▲ 797,830	2,487,302
貸借料	11,010,759	11,672,000	13,241,758	2,230,999	1,569,758
水道光熱	65,240,603	75,137,000	65,782,927	542,324	▲ 9,354,073
水保	1,355,796	1,571,000	1,328,731	▲ 27,065	▲ 242,269
委	77,078,197	73,703,000	75,394,460	▲ 1,683,737	1,691,460
研	2,777,685	1,859,000	2,445,945	▲ 331,740	586,945
調	714,432	850,000	1,020,492	306,060	170,492
査	3,950,318	3,333,000	2,999,120	▲ 951,198	▲ 333,880
議	14,893,110	14,097,000	14,334,790	▲ 558,320	237,790
会	294,676	360,000	232,352	▲ 62,324	▲ 127,648
諸	3,528,235	10,681,000	9,215,537	5,687,302	▲ 1,465,463
渉	14,121,318	13,998,000	14,109,752	▲ 11,566	111,752
租	91,895,000	94,768,000	92,128,000	233,000	▲ 2,640,000
通	96,801	30,000	181,860	85,059	151,860
事	532,206,876	535,053,000	547,771,622	15,564,746	12,718,622
業	1,325,672,475	1,333,167,000	1,358,598,371	32,925,896	25,431,371
業	▲ 2,397,593	▲ 3,950,000	▲ 26,234,697	▲ 23,837,104	▲ 22,284,697
受	12,654	0	28,402	15,748	28,402
取	524,800	0	524,800	0	524,800
取	21,005,798	13,770,000	27,197,800	6,192,002	13,427,800
業	21,543,252	13,770,000	27,751,002	6,207,750	13,981,002
支	299,402		222,902	▲ 76,500	222,902
雑	1,312,738	5,120,000	2,028,582	715,844	▲ 3,091,418
事	1,612,140	5,120,000	2,251,484	639,344	▲ 2,868,516
業	17,533,519	4,700,000	▲ 735,179	▲ 18,268,698	▲ 5,435,179
特	46,295	0	3,548,400	3,502,105	3,548,400
別	15,641,253	3,000,000	144,848	▲ 15,496,405	▲ 2,855,152
引	1,938,561	1,700,000	2,668,373	729,812	968,373
法	1,020,000	1,700,000	520,000	▲ 500,000	▲ 1,180,000
過	0	0	0	0	0
年	918,561	0	2,148,373	1,229,812	2,148,373
当	0	918,561	164,796	164,796	▲ 753,765
期	0	0	0	0	0
目	918,561	918,561	2,313,169	1,394,608	1,394,608
的					
積					
立					
金					
取					
崩					
額					
余					
金					
未					
処					
分					
剰					
余					

## 10. 製造原価の明細

該当する事項はありません。

## V 2015年度剰余金処分案

作成 2016年4月1日  
備付 2016年5月1日

札幌市北区北8条西7丁目1-1  
北海道大学生生活協同組合  
理事長 柿澤 宏昭

単位:円

項 目	金 額
I 当期末処分剰余金	2,313,169
II 剰余金処分額	
1. 法定準備金引当額	900,000
2. 任意積立金	
(1) 施設整備積立金	1,000,000
	1,900,000
III 次期繰越剰余金	413,169

施設整備積立金は、計画している施設整備のために、自己投資・大学への寄付等として活用することを目的として今年度から開始をします。目標額は1億円とします。

### 教育事業等繰越金

上記の次期繰越剰余金には、消費生活協同組合法第51条の4第4項に規定する教育事業等繰越金が含まれています。

単位:円

項 目	金 額
I 当期首繰越金	50,000
II 今期処分額	50,000
III 今期繰入額	150,000
IV 次期繰越金	150,000

## 株エルムプロジェクトの 2015 年度のまとめと 2016 年度計画

この株エルムプロジェクトは事業の全般に渡り、北海道大学様のご指導をいただきながらすすめております。2015 年度は北海道大学総合博物館の耐震工事に伴いミュージアムショップの 1 年間の休業ということもありましたが、他店(北大生協購買部、エルムショップ等)での観光客の来店増などもあり、利用が増えミュージアムショップ休業期間中の売上ダウンをある程度カバーできました。運営面では 2012 年度より正規職員を配置せず、フレンドリー職員 3 名での運営に変更し、2015 年度も北海道大学グッズの開発及び、大学貢献、北大の広報活動の支援、事業連合(名産品ギフト)の業務委託を担う事業として進めてきました。

### [1] 2015 年度のまとめ

#### 1. 北大オリジナル商品開発について

株エルムプロジェクトは大学広報課、博物館定例会議等にて協議の上、北海道大学認定グッズ、北大生協オリジナルグッズ、北海道大学博物館オリジナルグッズとして商品開発の他、大学部局からの依頼によりノベルティグッズの対応も行なっております。新商品の開発は大学と協議し 2016 年に計画的に製作をする事とし各取引先と準備をすすめているところです。

【大学協議で決定した 2016 年度中、発売予定の新商品】

① 北大オリジナルパーカー



② 北大オリジナルTシャツ



② 北大オリジナル鉛筆



④ 北大オリジナルレターセット





⑤北大オリジナル付箋



⑥北大オリジナルクリアファイル

上記の他に、高級ボールペン、定規、キーホルダー等の他、ミュージアムショップのリニューアルオープンに向け博物館オリジナルグッズの開発も進め、2016年度の売上拡大を進めました。

2014年度の北大の新入生に関する提案では今年も北大オリジナルカタログを製作した他、入学式会場での物販支援、北大生協から郵送される新入生の親元へのダイレクトメールにカタログを同封してもらい供給対策を行ないました。

2. 学内外への広報活動の支援(販売)をしました



2015年度は、北大入学式会場（札幌コンベンションセンター）での北大グッズ販売支援を行い、多くの保護者の皆様に大学グッズを通じ北海道大学を知っていただくことができました。エルムプロジェクトスタッフが宅配コーナーの責任者となり、事前にマニュアルや当日の必要備品等全ての準備の他、当日受注した宅配、後日ファックスや電話で注文が来るものの対応を全て行なっています。売上の的には前年は1,894千円に対し本年実績は2,193千円と+296千円上回りました。売上増の要因の一つとしては会場売上は減少しましたが、会場でのカタログ手配り、北大生協からの親元へダイレクトメールへの同封により後日注文で大きく伸ばしました。

2015会場売上げ					
	単価	売上数	合計1	合計2	
ハム	ローズ	6,000	0	0	
	アイス	3,000	2	1,120	
	もてし	4,000	3	14,000	21,730
酒	大樽焼酎	2,000	20	26,700	
	焼酎焼酎	2,000	21	26,400	
	大樽焼酎セット	6,000	2	24,000	
	茶葉	4,000	13	20,000	217,930
ケーキ	ケーキBOOK型1枚	800	603	481,600	
	ケーキ 2枚	1,000	216	216,000	
その他	新入生用ケーキ	700	107	24,000	
	新入生用ケーキ	1,000	26	26,000	
	北大焼酎が入り	700	297	165,000	
	北大焼酎が入り	1,200	103	120,000	
					294,430
			1,259,500	1,259,540	
2015発送					
	単価	発送数	合計1	合計2	
ハム	ローズ	6,000	6	32,400	
	アイス	3,000	4	14,100	
	もてし	4,000	12	60,200	
酒	ローズとプレゼント	0	0	0	
	大樽焼酎	2,000	16	44,000	
	焼酎焼酎	2,000	9	21,000	
	ケーキブック型	6,000	4	22,400	
	ローズワインセット	3,000	6	20,400	
	ケーキブック型の大ま	6,000	16	96,000	
	大樽焼酎セット	6,000	4	24,000	
	大樽焼酎セット&焼酎セット	4,000	63	324,000	
茶葉	620	18	14,700		
ケーキ	フルーツケーキ	620	16	12,000	
	ケーキBOOK型1枚	800	37	22,000	
その他	ケーキ 2枚	1,000	24	24,000	
	新入生用ケーキ	700	0	0	
	新入生用ケーキ	1,000	0	0	
	北大焼酎が入り	700	29	20,000	
送料	送料		14,100		
			933,820	933,820	
			2,193,320	2,193,320	

## 3. 2015年度決算報告

数値関係～

	2014年実績	2015年予算	2015年実績	前年差異	伸張率	予算差異
売上高	42,508	42,850	40,456	-2,052	95.2%	94.4%
供給剰余金	8,323	8,570	8,474	151	101.8%	98.9%
G P R	19.6%	20.0%	20.9%	1.4%	107.0%	104.7%
その他手数料収入	490	620	452	-38	92.2%	72.9%
事業総剰余	8,813	9,190	8,926	113	101.3%	97.1%
人件費	3,919	3,474	3,435	-484	87.6%	98.9%
物件費	4,746	5,216	4,264	-482	89.8%	81.7%
事業経費計	8,665	8,690	7,700	-965	88.9%	88.6%
事業剰余金	148	500	1,226	1078	828.4%	245.2%
事業外収入	0	0	12	12	#DIV/0!	#DIV/0!
事業外費用	0	300	293	293	#DIV/0!	97.7%
経常剰余金	148	200	945	797	638.5%	472.5%
法人税	75	0	290	215	386.7%	#DIV/0!
当期利益	73	200	655	582	897.3%	327.5%

※北大認定グッズの出荷分(15/04～16/03)に対する北大への商標使用料は512千円でした。

## ・特徴

2015年度は、北大総合博物館の耐震工事に伴い、ミュージアムショップの1年間の休業ということからグッズの販売店舗のマイナスからのスタートでした。しかし生協会館のリニューアルオープンによるグッズコーナーのリニューアル効果や、北海道構内への観光客の増加等により▲2,052千円に抑えることができました。また商品にもよりますが製造コストの見直し(取引先選定)を行ない、従来の仕入れ条件よりも低価格で仕入れをする事で全体で1.4%の利益改善につながり、売上は予算比未達成でしたが、供給剰余では予算を+151千円上回ることができました。人件費は、ほぼ計画通りで終了。物件費も▲482千円と節約で終了しました。計画していた費用との関係では北大構内グッズ販売マップの未製作により広報費▲300千円、新学期広告費として500千円していましたが計画組み違いで120千円だったこと等があり物件費の節約となりました。

最終的には供給予算は未達成でしたが供給剰余でプラス、人件費、物件費での節約により経常剰余は+945千円で終了しました。法人税290千円を支払い、当期剰余金は+655千円の黒字で年度を終えることが出来ました。

## 〔2〕2016年度予算・その他

	2014年実績	2015年実績	2016年予算	14実績/16計画	15実績/16計画
売上高	42,508	40,456	43,650	1,142	3,194
供給剰余金	8,323	8,474	8,930	607	456
G P R	19.6%	20.9%	20.5%	0.9%	-0.5%
その他手数料収入	490	452	620	130	168
事業総剰余	8,813	8,926	9,550	737	624
人件費	3,919	3,435	3,581	-338	146
物件費	4,746	4,264	5,521	775	1,257
事業経費計	8,665	7,700	9,102	437	1,402
事業剰余金	148	1,226	448	300	-778
事業外収入	0	12	0	0	-12
事業外費用	0	293	0	0	-293
経常剰余金	148	945	448	300	-497
法人税	75	290	0	-75	-290
当期利益	73	655	448	375	-207

※事業課題及び目標

- ア. 2016 年度より北大グッズの製作基準が緩和され北大認定・生協グッズの区分けがなくなると聞いています。商品開発を進めるとともに、第2の札幌農学校クッキーのような商品開発を各社と協力して開発発売できるよう進めていきます。
- イ. 商品在庫の管理を強化し、回転率を上げ収益、資金管理をよりスムーズにし会社運営の安定を目指します。
- ウ. 北大生協と協同で学生組合員とのグッズ製作を進めます。
- エ. ホームページの見直しを行い、より受注拡大を目指します。WEB上でのカード決済も検討します。
- オ. 北大近郊ホテル等への北大グッズパンフレットの設置を行いカタログファックスでの受注を増やします。
- カ. 各学部同窓会や各部局への記念品製作提案を進めます。
- キ. 各同窓会との連携をすすめ、北大グッズのカタログ又はチラシ等を会報等に同封していただけるよう進めていきます。
- ク. 経常利益は黒字を目指します。

## <2015 年度監査報告書>

### 監査報告書

私たち監事は、2015年3月1日から2016年2月29日までの2015年度の理事の職務の執行を監査いたしました。

その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法およびその内容

監事は北海道大学生生活協同組合監査規則に準拠して、他の監事と意思疎通および情報の交換を図るほか、監査方法等に従い、理事および職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、本部および主要な事業所において業務および財産の状況を調査いたしました。子会社については、子会社等の取締役および監査役等と意思疎通および情報の交換を図り、必要に応じて子会社等から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書およびその付属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれらに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算書類（貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案）および付属明細書について検討いたしました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告書等の監査結果

- 一 事業報告書及びその付属明細書は、法令および定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 決算関係書類（剰余金処分案を除く）およびその付属明細書の監査結果

決算関係書類（剰余金処分案を除く）およびその付属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

##### (3) 剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2016年4月25日

北海道大学生生活協同組合

監事会議長 坂爪 浩史

監事 吉見 宏

監事 芦名 優一

監事 梶原龍之介

監事 本間 健太

## 第2号議案 2016年度事業計画及び、予算の件

### 第1章 2016年度事業計画及び予算

#### (1) 経営上の目標

2016年度予算は供給予算46億8,946万円 供給剰余10億9,122万円 事業総剰余13億5,300万円 当期剰余金を500万円で計画いたします。

部門別には購買部門23億1,800万円、書籍部門5億3,200万円、食堂部門10億1,000万円、旅行・SV部門8億2,800万円の計画です。

供給高では新学期関連事業で昨年の北部食堂からクラーク会館&生協会館へと新入生センターの変更等はありませんが、大学の合格通知に生協の入学準備資料が同封されることで早い段階から新入生に生協の提案を知っていただけることができます。新学期の運営については運営の変革としてアドバイザー制度を今までの部門毎からトータルサポートを行う仕組みに変更し、今まで以上にアドバイザーと新入生、保護者のさまざまな不安解消をトータルで行ないながら生協提案を行なう事で、生協加入・共済加入、生活用品や勉強教材提案商品のアップを目指します。また昨年成功し購買、食堂の利用客数対策となったIC学生証・職員証へのプレミアム企画による事前チャージ対策で学内マネーの確保を昨年以上の目標を立て進めます。同様に食育として取り組んでいるミールカードについてはここ数年、申込者の継続率や実際の利用(還元額)から判断し、2016年度は今までの3コースの他に少額利用者、女性向けコースとして400円コースを設定し新規・継続者数の増員を目指します。書籍部門は全国的な学生の読書離れによる雑誌や一般・文芸など個人の紙媒体の購読が減少傾向となっておりますが、今一度店舗の品揃えの柱を組合員の要望を取り込む事とし、品揃えノートの設置や読書マラソン、全国コメント大賞の推進活動を各委員会との連携を行ない進めていきます。

購買部門では電子購買システムの本格稼働が2年目を迎え、それらに対応する生協の対応が校費利用に大きく左右されます。購買売部としてはサイトへの売れ筋商品やお買い得商品の登録を提起に行くとともに、学内に店舗がある利点を活かしレスポンスの早い営業活動で利用促進をはかります。また店舗においては自動車学校の申込み対策として4ターム制の動向をしっかりと捉え年間企画を進めます。旅行部門の取り巻く環境は引き続き厳しいものの治安面を除けば4ターム制が始まることで2年生以上は留学に出やすくなることから学生に特化した提案の強化のほか、ラーニングサテライト事業の獲得に力を入れ供給対策を進めます。

人件費については非正規職員の最低賃金対応として+15円を3月から、新学期アドバイザーの年間研修費用を前年比300万円、退職引当金として昨年度同額で計画し2021年に100%の引当をおこなう計画として2,400万円を行ない、残業等の労務コントロールを行なうことで全体では前年マイナス780万円で進めます。物件費で大きいのは緊急的以外のものを除き、設備投資として食堂、購買の老朽化設備を中心(総額2,200万円:6年償却で計画し初年度償却として700万円を減価償却費で計画)に入替を計画し、最終当期剰余を500万円とする計画です。

#### (2) 課題と推進

2016年度は、新たに総代会で決議した「北大生協の使命とビジョン、アクションプラン」のスタートとなります。次の2016年度から2020年度までの5カ年の中期計画に基づき、大学の福利厚生の一部を安心してお任せいただける北大の生協づくりを目指し、生協から学生生活の変化等(学生生活実態調査、食堂利用調査等)について、大学に情報を発信しながら協力して進めてまいります。

身近で役に立つ、やさしい生協づくりを目指すために、「組合員の声」を中心に、組合員のみなさんのご要望等を把握して、出来るだけ早く改善に結び付けます。品揃え・調理・接遇・広報などで、他店に負けないように努力します。利用環境の改善に向けた提案を強化します。特に中央食堂の建物は38年を経過して老朽、狭隘化が進んでいますので大学との協議を重ね将来的な大学の検討しているキャンパスマスタープラン2016とも連動して建替えを目指して取り組みます。学生生活実態調査では学生の仕送りやアルバイト収入が減少し続けていま

すので、学生支援の視点からアルバイト等の労働力を生協の店舗を通じて広げていくことを意識します。

理事会は常に偽りのない決算書を作成して公開し、「経営改善が進んでいるのか」・「もっとご利用いただくための対策や、商品仕入原価の改善をもっとできないか」・「人件費・物件費等のコストを作業改善等でもっと減らせないか」・「投資判断をして5年後・10年後を見通した施策になっているか」等の視点から随時必要な経営判断を行います。生協経営で黒字が出ると、その黒字は学外に流出させず、店舗への投資・商品の割引・大学への寄付等に活用してきました。組合員や大学関係者のみなさん、生協経営が黒字であることは、学内構成員と大学との共通の財産です。「ここを改善して」と気づかれたときなどにお知らせいただけるとたいへん助かります。店頭「組合員の声」、生協ホームページ、[メール seikyout@coop.hokudai.ac.jp](mailto:メールseikyout@coop.hokudai.ac.jp) などもご活用ください。

### (3) 2016年度 基本テーマ

『組合員の要求をひとつずつ確実に実現することを常に考え、職員一人一人の笑顔が喜びに繋がる生協を目指します。』

- ・「組合員に貢献する事業の推進を！」
- ・「組織・事業の運営を全体（総合力の集中）で進めよう！」

4つの視点を中心に全体運営を行ない組合員サービスに努めます。

#### ① 総合化

- ・新入生（とその保護者）に大学生活の準備をトータルの「コト」として提案します。「安全、安心で充実した大学生活」を送るために必要な様々な商品・サービスという「モノ」を用意いたします。

#### ② 早期化

- ・6月には全体総括を行い、8月のオープンキャンパスをキックオフとして活動を開始し、以降の様々な研修や取組成果を3月の合格発表時に集大成として新学期事業の成功！と言う大きな花火を打ち上げましょう。
- ・事業全般も同様、事前に年間アクションプランを作成し、2ヶ月前に企画を確定し先を見た仕事スタイルに執行体制を早めていきましょう。

#### ③ 全体化

- ・新学期事業、活動は学生アドバイザー・生協学生委員会・生協職員（新学期メンバーだけではなく全体で）が一体となって取り組みます。
- ・会議運営についても経営会議を廃止（MG会議は継続）し、運営協議会に変更。全店長参加の元、全体確認の上、業務執行のスピードアップと起きているコトの周知徹底を進めます。
- ・事業全般においてMgを中心に縦割り体制から横断的な運営体制へ変更し、総合力を強めます。
- ・組織活動は理事会（各委員会）を中心に、生協全体で参加、協力、推進を進めます。

#### ④ 共有化

必要な情報を共有し、全体で問題解決に取り組みます。

- ・運営協議会の月次開催（年12回）

～情報を全体で早期に共有し、対策を即座に打てる体制の確保

- ・職員からの情報を理事会に集中、又は全体発信を早期に行ない情報の早期全体共有を進めます。
- ・大学内で起きている事や、大学関係で起きている事、事業の関係等々含め『私は知らなかった』、『聞いていない』等々を減少させていきます。

## 第3号議案 役員報酬限度額決定の件

役員の間報酬について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則にもとづいて支給すること、及び、各役員の報酬額・支給方法などについては、理事に関しては理事会に、監事に関しては監事の協議に委ねることを決定します。

### (1) 理事 (21名) の報酬 (総額)

常勤理事 (1名) と非常勤理事 (20名) の報酬の限度額を1,600万円とします。

※上記の総額には、常勤理事1名の役員就任期間に対応する退職金を含みます。

### (2) 監事 (5名) の報酬

非常勤監事(5名)に関する報酬の限度額を60万円とします。

## 第4号議案

## 2020年に向けた北大生協ビジョンとアクションプラン策定の件

### 2020年に向けたビジョン

北大生協は、国立大学法人化を見据え、2004年5月に「北大生協の2015年に向けた使命とビジョン・アクションプラン」を策定しました。2011年度には策定から5年間の振り返りを行い、2015年度までの5年間における北大生協の指針を、ビジョン・アクションプランとして総代会にて組合員の総意によって決定しました。これらで確認をした使命、ビジョンとアクションプランは、北大生協のめざすべき方向性を組合員・大学・社会に対して発信する役割を担ってきました。2016年度通常総代会を迎えるにあたり、最終年度を迎える2015年度に新たな計画策定のために、理事会内に「ビジョンとアクションプラン策定委員会」を設置し、組合員・生協職員・各委員会(学生・教職員・院生・留学生)等からの声を集め、討議を積み重ねてまいりました。

4月理事会での確認を経て、今回提案する北大生協のビジョンとアクションプランは3期目となります。2004年度に掲げた「北大生協の使命」については、存在意義と果たす任務について、歴史を踏まえながら北大生協の意志を表したものであると継続するものとします。これまでのビジョンとアクションプラン、北大生協の歩みを振り返り、中期的な目標であるビジョンと、それを実現する行動・実践計画であるアクションプランを併せて提案します。

ビジョンとアクションプランは各年度で総括を行い、生協として実践する諸課題については、組合員の声等を参考にしながらアクションプランに沿って、年度方針を具体化して実践していきます。

### 北大生協ビジョンとアクションプラン

— 協同と助けあいの創造・継承のために —

北海道大学には、道都の中心部にありながらも自然豊かで広大な札幌キャンパスと今も港町の情緒あふれる街とともに歩み続ける函館キャンパスの2つのキャンパスがあります。国立大学最多の12学部を有し、学生・院生・教員・職員は多くの人々や学問・教養に出会い、北海道大学ならではの文化を醸成させながらキャンパスでの生活を送っています。北海道大学は大学院に重点を置く基幹総合大学であり、「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」及び「実学の重視」を基本理念に掲げ、地域や日本、そして世界に貢献する教育研

究活動を行っています。今日では世界のHOKUDAIとして、グローバル人材の輩出を目指す取り組みを進めているように、常に次の時代を切り拓き続けています。

私たち北大生協は、大学にどう学生・院生・教員・職員によって構成され、すべての構成員のつながり・参加を大切にして、生協職員とともに事業・活動を営む生活協同組合です。「学ぶことは食べること」といわれた時代に始まった北大生協は「協同の精神」を引き継ぎながら、そのときどきの大学と社会、そして大学構成員が求めるよりよい生活を実現するために、共通の願いをもつ組合員とともに多彩な事業・活動を展開してきました。

大学構成員や北大生協を取り巻く社会に目を向けると、2011年に発生した東日本大震災・福島第一原発事故は日本国内に未曾有の困難をもたらし、今もなお、その影響を受けている人々がいる一方で、困難をともに乗り越えようと「協同の精神」を人々が再確認した出来事でもありました。2012年は国際協同組合年であり、日本国内だけでなく世界中の人々が「協同の精神」に触れ、今日まで協同組合の想いが続いてきました。2015年は戦後70年の節目の年にあたり、多くの人々がともに、将来にわたって平和で安全な社会を築いていくことを心に誓いました。そしてこの先も社会情勢や北大生協を取り巻く環境の変化と同時に、大学と社会、大学構成員が求めるよりよい生活は刻々と変化していくことでしょう。

北大生協は、これまで大切にしてきた「協同の精神」を将来に引き継ぎながら、組合員、大学、他の協同組合と協力して、その役割を発揮していきます。そして、北海道大学の基本理念が達成されることを願い、豊かで充実した大学生活の実現を組合員・大学とともにめざしていきます。北大生協は、組合員の参加と協同のもとに組合員への貢献を第一に、同時に大学やさらに社会への貢献をめざす事業体として活動を続けていきます。事業・活動の目標設定と目標実現を明確化し、組合員・大学とともにある北大生協の役割・想いを、北大生協に関わるすべての人へ発信するために以下のビジョンとアクションプランを掲げます。

## 使命

1. 北大生協は、北大の勉学・教育・研究の発展に安心と信頼のサービスで貢献します。
2. 北大生協は、学生・院生の自立・成長と学内構成員の協力・協同の促進に寄与します。
3. 北大生協は、持続的発展可能な地域社会・国際社会の実現に向けて力をつくします。

## ビジョン

1. 組合員の要求を事業活動の中心に据えて、すべての北大構成員の大学生活をサポートできる生協を目指します。
2. 人と人のつながりを大切にし、組合員の参加と協同を通じて、組合員と共に学び成長する生協を目指します。
3. 福利厚生にかかわる多面的な事業・活動を通じて、北大の近未来戦略の実現に貢献し、大学との相互協力関係の構築を目指します。
4. 健全で安定した経営を確立し、組合員が安心して利用でき、満足できるサービスが受けられる環境を整えることによって、組合員に選ばれる生協を目指します。
5. 地域そして社会の問題に目を向け、持続的な社会づくりに貢献する生協を目指します。

## アクションプラン

- (1) 多様な構成員が利用しやすい店舗・サービスの追求、情報の発信を行い、活気あふれる事業活動をいっそう充実していきます。(1・2・3に該当)

- ・ 生協と組合員の直接的なつながりを大切にし、組合員の声と参加による事業をすすめます。
- ・ 様々な情報ツールを活用して、商品やサービス情報を組合員・保護者へ提供します。
- ・ 多文化や多言語への対応を店舗づくりや人材育成の中で進め、留学生や海外からの研究者なども利用しや

すい生協をつくります。 (3)に共通

- ・ 教職員が、生協組合員であることの優位性を実感できるサービスの周知や拡大を進めます。
- ・ すべての学生が健康な生活を過ごすために、食生活を中心とした提案を行います。
- ・ 学生の無保障者（生協の共済・保険、または大学がすすめる保険にも一切加入していない学生）を減らす取り組みを大学と協力してすすめます。 (3)に共通

(2) 暮らしの変化に対応して、学生・院生・留学生・教職員組合員のニーズに応える事業を確立し、生協の事業と学生・院生・留学生・教職員の各委員会活動を通じて、組合員一人ひとりと深く結びついた事業を展開します。 (1・2に該当)

- ・ 全階層で総代会議を実施するだけでなく、多様な企画を通して、組合員が生協の運営に参加する場を増やします。
- ・ 新たに北大の構成員となるすべての学生・教職員に総合的なサポートを行うことによって大学生協を伝え、組合員として北大生協に迎えます。
- ・ 構成員の横のつながりを強化するために、各委員会活動を協力して進めるとともに、委員会の垣根を超えた交流の場を設けます。
- ・ 学内の諸団体とのつながりを強化し、協同の輪を広げ、学生活動のサポートを行います。

(3) 事業や活動を通じて、北大の近未来戦略の実現に寄与するとともに、大学との緊密なパートナーシップを構築します。 (1・2・3に該当)

- ・ 中央厚生会館をはじめとする学内福利厚生施設と生協会館の機能と業態について検討を行い、大学の施設計画（キャンパスマスタープラン）に連動させた福利厚生の充実を大学とともにすすめます。
- ・ 生協の事業の省エネ化、グリーン調達などを通して、サステイナブルキャンパス構築に貢献します。 (5)に共通

- ・ 大学で展開される地域との連携を、事業場面を通じて積極的にサポートします。

(5)に共通

- ・ 長年にわたってキャンパスライフを支えてきた実績をもとに、大学に積極的に提案を行い大学業務の最適化に協力します。
- ・ 大学で発行する学生・教職員証等に搭載されている生協電子マネーを、各種サービスに対応できるシステムを開発しつつ普及します。

(4) 健全で安定した経営を確立し、組合員・大学からの信頼を向上させます。

(1・2・3・4に該当)

- ・ 店舗利用を事業の中心と捉え、利便性を高め、店舗機能を強化します。
- ・ サービス提供に必要な設備投資を計画的に行い、ローコストで運営できる経営構造の改革、業務の標準化をすすめ、サービスの拡大・改善を行います。
- ・ 中長期的な視点から、安定した経営構造のあり方についての検討を行います。
- ・ 組合員とのコミュニケーション力を向上させるなど、より高度なサービスが提供できるよう生協職員の育成をします。
- ・ 生協職員の雇用責任を果たすために、退職金の引当を継続して進めます。
- ・ ガバナンスの整備と個人情報の保護などコンプライアンス体制を強化して、組合員・大学に信頼される生協運営を行います。

(5) 大学から社会へはばたく学生のキャリア形成支援をはじめ、大学との協力と連携のもとに地域社会に貢献します。 (2・3・5に該当)

- 入学前から卒業そして就職まで、大学生活として必要なスキルを身に付けるための、さまざまな講座や、留学提案等の経験の場を提供し、学生の自己成長を育む取り組みを支援していきます。  
(3)に共通
- 地産地消の取り組みを通じて、地域の農林水産業などの活動を学びつつ、地域貢献の役割を担います。
- 消費者保護、食の安全、環境保全などについて、大学や地域団体とも連携しながら取り組みます。  
(3)に共通
- 地震・風水害その他の災害が発生し、又は発生のおそれがある場合、大学と協力連携して支援活動のできる体制を整えます。  
(3)に共通

以上

## 第 5 号議案 定款一部改定の件

<現行>	<改定案>	<コメント>
<p>2011年5月26日通常総代会で改正を議決し、2011年7月8日に北海道知事から認可を受けた北海道大学生協同組合定款は以下のとおりです。</p> <p style="text-align: center;"><b>定款</b></p> <p>(総代会の議事録) 第65条 総代会の議事については、法令で定める事項を記載した議事録を作成し、議長及び総代会において選任した総代2人がこれに署名又は記名押印するものとする。</p> <p>附則 (施行期日) この定款は1957年11月30日より施行する。1960年5月・61年5月・64年5月・64年11月・65年5月・67年5月・69年10月・76年11月・77年11月・78年5月・85年5月・86年5月・91年5月・92年5月・94年5月・2001年5月・06年6月・08年2月・08年5月・2009年6月19日及び'11年7月一部改正施行する。_</p>	<p><u>2016年5月26日</u>通常総代会で改正を議決し、<u>2016年6月●日</u>に北海道知事から認可を受けた北海道大学生協同組合定款は以下のとおりです。</p> <p style="text-align: center;"><b>定款</b></p> <p>(総代会の議事録) 第65条 総代会の議事については、法令で定める事項を記載した議事録を作成し、議長及び代表理事がこれに署名または記名押印する。</p> <p>附則 (施行期日) この定款は1957年11月30日より施行する。1960年5月・61年5月・64年5月・64年11月・65年5月・67年5月・69年10月・76年11月・77年11月・78年5月・85年5月・86年5月・91年5月・92年5月・94年5月・2001年5月・06年6月・08年2月・08年5月・2009年6月19日、'11年7月及び<u>2016年5月</u>一部改正施行する。_</p>	<p>認可を受けた日付を記載します</p>

## 第 6 号議案 議案決議効力発生の際

議案の本旨に反しない範囲の字句の修正を理事会に一任します。

総代会終了届け等の行政上の手続きの際、字句の間違い訂正や法律用語等が不正確な表記で訂正しなければならない場合があります。その場合には、字句訂正をして手続きをすすめます。

## 役員選挙の件

- 役員定数は定款第18条にもとづき、2016年2月理事会で、理事21名・監事5名と決定しました。その半数以上は学生・院生となります。
- 役員立候補(推薦)者の名簿は別紙のとおりです。  
この用紙を受け取った生協職員・組織委員は理事会室にお届けください。

## 2016 年度 理事会推薦役員候補者一覧

### 理 事

役職	氏 名	所 属	生協歴
理事	柿澤 宏昭	農学研究院教員	13年副理事長、14年～理事長
理事	吉見 宏	経済学研究科教員、副学長	91年～監事
理事	多谷 司	工学系事務部職員（工学部事務部長）	15年～理事
理事	寺澤 睦	理学・生命科学事務部職員（理学部事務部長）	新任
理事	間宮 春大	北方生物圏フィールド科学センター職員	07年～理事 教職員委員長
理事	羽山 広文	工学研究院教員、総長補佐	15年～理事
理事	藤田 良治	高等教育推進機構教員	14年～理事
理事	三上 直之	高等教育推進機構教員	15年～理事
理事	笠原 敏史	保健科学研究院教員	15年～理事
理事	岸本 敬一	生協職員	11年～理事
理事	岩田 涉廣	法学研究科学生 修士2年	新任 院生委員長
理事	本間 真佐人	理学院学生 博士2年	新任
理事	大村 龍之介	教育学院学生 修士2年	12年～理事 環境課題推進委員長
理事	谷 遼大	法学研究科学生 修士1年	13年～理事
理事	加藤 泰介	理学部学生 学部2年（体育会委員長候補）	新任
理事	中山 拓登	農学部学生 学部3年	15年～理事 学生委員長
理事	高橋 真太郎	文学部学生 学部3年	15年～理事
理事	佐川 笑	文学部学生 学部3年	新任
理事	小池 優	農学部学生 学部3年	新任
理事	豊原 涼太	工学部学生 学部2年	新任
理事	越智 亮太	工学部学生 学部2年	新任

以上21名

### 監 事

氏 名	氏 名	所 属	生協歴
監事	坂爪 浩史	農学研究院教員	12年～14年理事、15年～監事会議長
監事	足立 航	経済学部学生 学部3年	新任
監事	狩元 良太	経済学部学生 学部3年	新任
監事	樋口 七瀬	経済学部学生 学部3年	新任
監事	久保 淳司	経済学研究科教員	03年～13年 理事

以上5名

平成28年4月21日

北海道大学生生活協同組合

理事長 柿澤 宏昭 殿

北海道大学総長 山口 佳三



北海道大学生生活協同組合監事の推薦について (回答)

平成28年4月19日付け文書で依頼のありました標記のことについて、下記の職員を推薦します。

記

経済学研究科 准教授 久保 淳司

# 総代会への意見提出用紙

議案書を読んだ感想・質問・意見や、日頃北大生協を利用して感じていることを教えてください。寄せられたご意見等に対し、総代会当日に理事会の見解を示します。(1) e-mailにてご意見をお寄せいただく (e-mail:seikyou@coop.hokudai.ac.jp) か、(2) 任意の用紙に記入しこの「総代会への意見提出用紙」を添付して、お近くの組織委員(学生委員)や生協職員にお渡しください。また、次の住所あてにお送りくださっても構いません。

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目 北大生協理事会室

(ご所属) 学部・部局等 \_\_\_\_\_ 学科・系等 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組

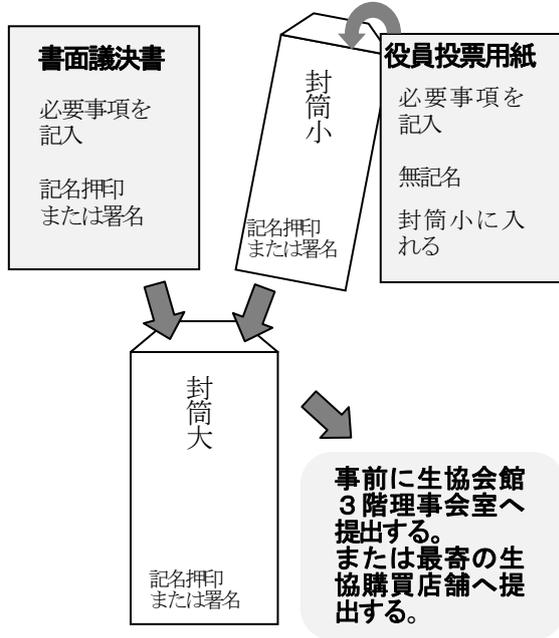
(お名前) \_\_\_\_\_ (ご連絡先) \_\_\_\_\_

..... (切り取り線) .....

## 総代会当日に実出席できない場合の参加方法

総代会当日に実出席できない方は (A) または (B) を選んでください。

### (A) 「書面議決書」「役員投票用紙」を提出



### (B) 「委任状」を提出

・代理人として総代会当日に出席する組合員を探します。

#### 委任状

必要事項を記入  
委任する人とされる人の記名押印または署名

・事前に北大生協会館3階理事会室へ提出する。  
・代理人に預ける (代理人が総代会に持参する)

## 総代会当日に急に出席できなくなる可能性のある方

も念のため「書面議決書」「役員投票用紙」の提出をお願いします。

この「委任状」は、次の1～3をすべて満たす方に限って使用します。

- 1 総代会当日に実出席できない方
- 2 「書面議決書」を提出しない方
- 3 任意の北大生協組合員に依頼して、代理として総代会当日に出席することの同意を得た方

「議長委任」「白紙委任」などはできません。なるべく書面議決書」を活用いただくようお願いします。

この委任状は、事前に担当の組織委員（学生委員）にお渡しいただくか、あるいは代理人の方が総代会当日にご持参ください。

## 2016 年度通常総代会

# 委 任 状

2016 年度通常総代会に( ①まったく ② 時ころより 時ころまで )出席できませんので、すべての権限を下記の者に委任します。

2016 年 5 月\_\_日

### <委任する人（総代）>

(所 属) 学部・部局等 \_\_\_\_\_ 学科・系等 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 組

(自筆の署名) \_\_\_\_\_ 印 (自筆のときには捺印はなくても構いません)

### <委任される人（代理人）> \*代理人の氏名を記入ください

(所 属) 学部・部局等 \_\_\_\_\_ 学科・系等 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 組

(自筆の署名) \_\_\_\_\_

\* 委任されて代理人になれるのは北大生協の組合員です。代理人は最高2人まで代理できます。

北海道大学生生活協同組合